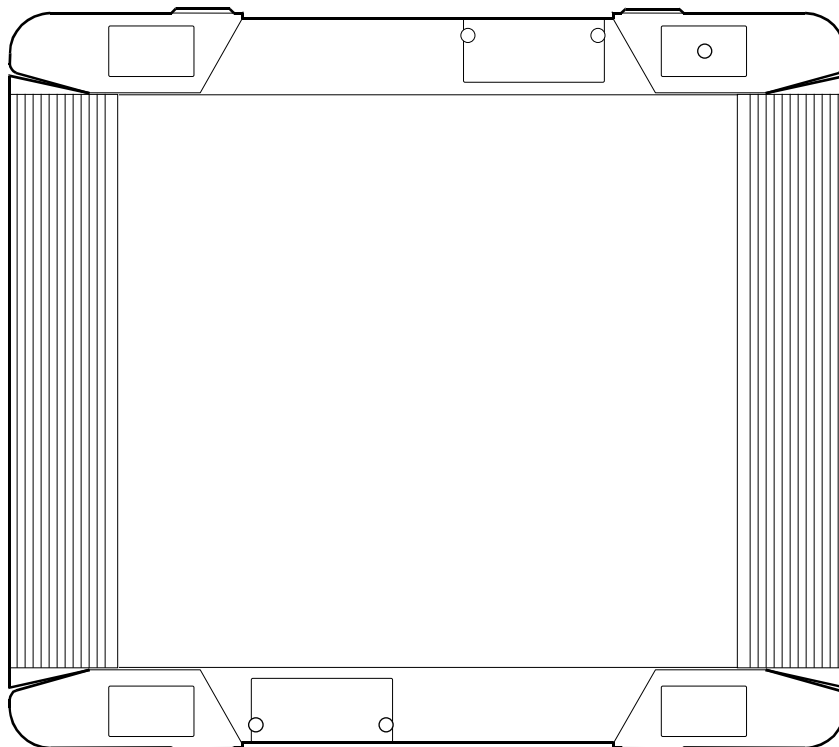
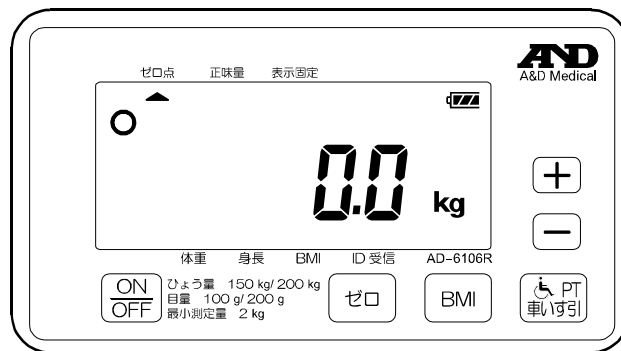


AD-6106R AD-6106RL

バリアフリースケール（車いす用）（3級）

## 取扱説明書



**AND**  
A&D Medical

## ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求については、(3) 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2019 株式会社 エー・アンド・デイ




株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

本書に記載されている商品名および社名は日本国内または他の国における各社の商標または登録商標です。




## 注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号で表示しています。警告サインと図記号の意味は次のとおりです。

### 警告サインの意味

 <b>危険</b>	この表記は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
 <b>警告</b>	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う等、物的損害の発生が想定される内容を示します。

### 図記号の意味

	△記号は注意（警告・危険を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
	⊘記号はしてはいけないこと（禁止）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文書や絵で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
	●記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文書や絵で示します。 左図の場合は「守っていただきたいこと」を示します。

### その他

<b>お知らせ</b>	機器を操作するのに役立つ情報です。
-------------	-------------------



この他にも、個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。



## 使用上（安全及び危険防止）の注意事項





バリアフリースケール（AD-6106R）を正しく、安全にお使いいただくために、以下の注意事項を十分に理解した上で取り扱ってください。




なお、ここに記載されている内容は、機器の安全な取り扱いの他に、測定者および被測定者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用に先立ち取扱説明書をご一読ください。




## 1. 機器の設置および保管は、次の点に注意してください。

 <b>警告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 機器を移動するときは、専用スタンドをご使用ください。 専用スタンドで移動するときは、“移動について”を参照の上移動してください。守らないと、怪我をする恐れがあります。</li><li>■ 設置されていることを周囲にお知らせください。知らない方が転倒する恐れがあります。</li></ul>

 <b>危険</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に本器を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。</li></ul>




 <b>注意</b>	
	<p>下記の使用環境、保管環境でご使用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 水のかからない場所。</li><li>■ 高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、硫黄分などを含んだ空気にさらされない場所。</li><li>■ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などのない安定した場所。</li><li>■ 本器および被験者の重さに耐えうる場所。</li><li>■ 暖房器具から離れた、または空調機の風が直接当たらない場所。</li><li>■ 化学薬品が保管されているなど、ガスが発生しない場所。</li><li>■ 設置：温度+5℃～+35℃、湿度85%RH以下（結露なきこと）の場所。</li><li>■ 保管：温度-10℃～+60℃の場所。</li><li>■ 機器の電源（周波数、電圧、電流）に十分対応できるコンセントが用意された場所。</li></ul>
	<p>製品の設置・移動時は、下記に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 移動時は、手すりを持って設置・移動してください。</li><li>■ 屋外や平坦でない床面ではキャスターを使用して移動しないでください。故障の原因になります。</li></ul> <p>移動の際は屋内の平坦な床面でのみキャスターを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 移動中に本体のまわりに人や物がないことを確認してください。</li><li>■ 移動中に本体を壁や物などにぶつけないようにしてください。故障の原因となります。</li><li>■ 乱暴に取り扱わないでください。故障の原因となります。</li><li>■ 本器を移動する時は、ACアダプタやケーブル類を本体より取り外してから移動してください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 本器は重量物のため、設置、移動時に手や足をはさまないように注意してください。</li></ul>


 <b>警告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 電源電圧は必ず交流 100 V でご使用ください。火災や感電の原因になります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 介助者無しの1人の場合、車いすで乗り上げることはしないでください。転倒し怪我をする恐れがあります。</li></ul>

 <b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 機器が安全かつ正確に動作すること。</li> <li>■ すべてのケーブルが正しくかつ完全に接続されていること。</li> <li>■ 他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題がないことを確認すること。</li> <li>■ 付属されている専用の AC アダプタを使用すること。</li> <li>■ 安全に正しく使用するために始業前点検を必ず行うこと。</li> <li>■ 機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。</li> <li>■ 取引や証明に使用される場合、製品の使用可能区域を本器に添付された重力加速度の範囲と本紙の「12. 地域別重力加速度一覧」からご確認ください。</li> <li>■ 「ひょう量」「最小測定量」は定格銘板または本体の表示部をご確認ください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 本器は人の体重を測定することを目的としています。体重測定以外の目的で使用しないでください。</li> <li>■ 電源コードや他のケーブルの上に重いものを載せたり、本器の下敷きにしたりしないこと。火災・感電の原因になります。</li> <li>■ AC アダプタ本体、プラグ部が破損または、電源コードが破損している場合は使用しないこと。感電や絶縁劣化により漏電火災の原因になります。</li> <li>■ 電池を交換する際は、すべて新しい電池に交換し、新旧の電池を混在させないでください。故障の原因になります。</li> <li>■ 電池は+・-の極性に注意し、正しく設置してください。</li> <li>■ 弊社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。</li> </ul>




## 2. 機器を使用する前に、次の点を確認してください。

 <b>警告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源電圧は必ず交流 100 V でご使用ください。火災や感電の原因になります。</li> </ul>

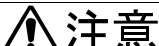


 <b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 機器が安全かつ正確に動作すること。</li> <li>■ すべてのケーブルが正しくかつ完全に接続されていること。</li> <li>■ 他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題がないことを確認すること。</li> <li>■ 付属されている専用の AC アダプタを使用すること。</li> <li>■ 安全に正しく使用するために始業前点検を必ず行うこと。</li> <li>■ 機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。</li> <li>■ 取引や証明に使用される場合、製品の使用可能区域を本器に添付された重力加速度の範囲と本紙の「12. 重力加速度の大きさの範囲」からご確認ください。</li> <li>■ 「ひょう量」「最小測定量」は定格銘板または本体の表示部をご確認ください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 本器は人の体重を測定することを目的としています。体重測定以外の目的で使用しないでください。</li> <li>■ 電源コードや他のケーブルの上に重いものを載せたり、本器の下敷きにしたりしないこと。火災・感電の原因になります。</li> <li>■ AC アダプタ本体、プラグ部が破損または、電源コードが破損している場合は使用しないこと。感電や絶縁劣化により漏電火災の原因になります。</li> <li>■ 電池を交換する際は、すべて新しい電池に交換し、新旧の電池を混在させないでください。故障の原因になります。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電池は+・-の極性に注意し、正しく設置してください。</li> <li>■ 弊社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



### 3. 機器の使用中は次の点に注意してください。

 <b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 機器全般および被測定者に異常のないことを絶えず監視してください。</li> <li>■ 機器全般および被測定者に異常が発見された場合には、安全な状態で機器の動作を止める等適切な措置を講ずること。</li> <li>■ 計量台の下に物が入り込んだ状態や、周囲の壁などとの接触を避けること。測定に影響します。</li> <li>■ 測定時は静かに計量台に乗り、測定が終了するまで体を動かさないこと。</li> <li>■ つまづきや転倒により怪我をするおそれがあります（計量台の段差、表示部と計量台をつなぐケーブル等） 乗り降りの際はこれらに注意してください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 強磁界および強電界中では使用しないこと。</li> <li>■ 温度変化の激しい場所では使用しないこと。測定値に誤差を生じる恐れがあります。温度差のある場所に移動するような場合は、移動後十分時間が経過してからご使用ください。</li> <li>■ ボールペンなど尖った物で表示器のスイッチ部を押さないこと。故障の原因になります。</li> <li>■ 専用スタンドに寄りかかったり、ぶら下がったりしないこと。転倒の恐れがあります。</li> <li>■ 計量台に飛び乗るなど、乱暴に取り扱わないこと。けがや故障の原因になります。</li> </ul>




### 4. 機器の使用後は次の点を確認してください。

 <b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 定められた手順により操作スイッチ等を使用前の状態に戻した後、電源を切ること。</li> <li>■ 付属品等は清掃した後、整理して保管すること。</li> <li>■ 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ケーブル類を取り外す時は、ケーブルを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。</li> <li>■ 長期間ご使用にならない場合は電池を抜いておいてください。</li> </ul>



### 5. 機器が異常と思われた時は、次の処置をしてください。

 <b>警告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 測定者および被測定者の安全を確保すること。</li> <li>■ 機器の動作を止め、ACアダプタをコンセントから抜くこと。</li> <li>■ 機器に「故障」、「使用禁止」等の表示を行い、速やかに弊社までご連絡ください。</li> <li>■ 体重計の校正はお客様では行えません。弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。</li> </ul>



## 6. 保守点検については次の点に注意してください。

 <b>警告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ お手入れの際は、感電防止のため、本器の AC アダプタをコンセントから抜いてください。</li><li>■ しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作することを確認すること。</li><li>■ 安全に正しく使用するため、始業前点検、保守点検は必ず行ってください。機器の使用・保守の管理責任は、設置者（施設、学校、病院・診療所）側にあります。始業前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 本器の分解、および改造はしないでください。けが、火災、感電の原因となります。</li></ul>

## 7. 強い電磁波やノイズにより誤動作を起こすことがありますので注意してください。

 <b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 本器は、JIS C 61000-4-3(電磁両立性)に準拠していますが、周囲に強い電磁波やノイズ等が存在すると、誤動作を起こす恐れがあります。機器の使用時、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。</li></ul> <p>次に一般的な原因と対策の一例をあげます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 携帯電話やマイクロ波治療装置等の近くでの使用 電波によって予期せぬ誤動作をして正確に測定できない恐れがあります。 本器の設置向きを変えてみるか、または下記の対策を実施してください。<ul style="list-style-type: none"><li>□ 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器等の電源を切るよう指導する。</li><li>□ 本器を使用中はマイクロ波治療装置等の使用を控える。</li></ul></li><li>■ 電源コンセント等を伝わって、他の機器から高周波雑音が入った場合<ul style="list-style-type: none"><li>□ 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置等により対策する。</li><li>□ 雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。</li><li>□ 他の電源コンセントから電源を取る。</li></ul></li><li>■ 静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電）<ul style="list-style-type: none"><li>□ 装置を使用する前に、測定者、被測定者とも十分に放電を行う。</li><li>□ 部屋を加湿する。</li></ul></li><li>■ 落雷等による影響 近くで雷が発生したときは、過大な電圧が機器に誘導されることがあります。このような場合は次の方法で機器を動作させてください。<ul style="list-style-type: none"><li>□ 無停電電源装置（JIS T0601-1 に適合している機種）を使用する。</li></ul></li></ul>





## 8. 環境保護

 <b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 本器を廃棄するときは、各自治体のリサイクルプランに従い処理してください。</li><li>■ 使用済の乾電池は、地方自治体の指導に従って処分してください。可燃性として処分すると、乾電池が爆発して火災が起り、やけどやけがをする恐れがあります。</li></ul>

## 安全測定のための警告および注意

測定に関する警告および注意事項を記載致します。

測定結果の自己判断、治療は危険ですので医師の指導に従ってください。

 <b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 電源ケーブルでつまずかないよう、設置場所に注意してください。</li><li>■ 本器には角や段差があります。転倒してぶつけてけがをしないよう注意してください。</li><li>■ 介助者無しの1人の場合、車いすで乗り上げることはしないでください。転倒し怪我をする恐れがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 計量台の端に乗らないでください。転倒する恐れがあります。</li><li>■ 計量台に飛び乗らないでください。けがや転倒する恐れがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ カバーや表示機に手や髪の毛をはさまないように注意してください。</li><li>■ 移動時に、計量台を落下させないように注意してください。</li><li>■ 移動時に、計量台やキャスターに足をはさまないように注意してください。</li></ul>

<b>お知らせ</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>■ 計量台の中央部にお乗りください。</li><li>■ 測定中に体が動かさないように測定してください。体動は測定誤差の原因になります。</li><li>■ 体動（揺らぎ）の大きい被測定者の場合、正しく測定できない場合があります。</li></ul>	



# 開梱

## ⚠️ 注意



- 本器は、精密機械ですので丁寧に扱ってください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。

## お知らせ

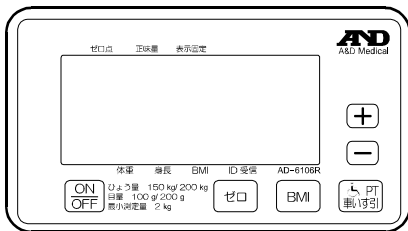
- 本器は、輸送中の損傷を防ぐため特別に設計された梱包箱に入れて出荷されていますが、開梱時には製品が損傷していないかご確認ください。万が一損傷している場合は販売店にご連絡ください。なお、将来本器を輸送する場合に備えて梱包材は保管しておいてください。

ご使用の前に付属品がそろっていること、本体と各付属品に損傷がないことを確認してください。

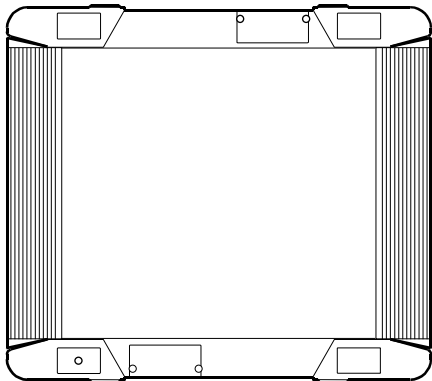
万一、損傷や内容物に不足がある場合には、お買い求めいただいた販売店または弊社営業所にお問い合わせください。オプション品は「11. アクセサリ・オプションリスト」を参照してください。

本体	.....	1 セット
計量台	.....	1 台
表示器	.....	1 個
付属品	専用 AC アダプタ (AC 100 V 50-60 Hz)	1 個
	AC アダプタ識別シール	1 個
	専用接続ケーブル	1 個
	付属ネジ・ドライバー	1 セット
	専用スタンド (AD-6106R のみ)	1 台
	保証書	1 冊
	取扱説明書(本書)	1 冊

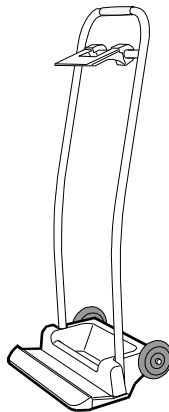
本体



表示器



計量台

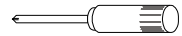


専用スタンド  
(AD-6106R のみ)

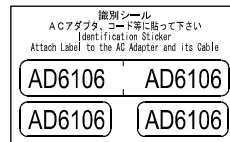
付属品



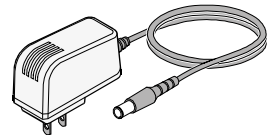
付属ネジ



ドライバ

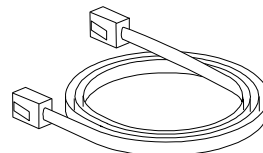


AC アダプタ識別シール

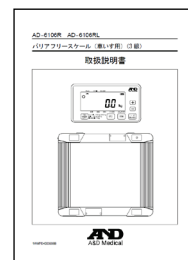


専用 AC アダプタ

※イラストは仕様により変更する可能性があります。



専用接続ケーブル



取扱説明書 (本書)



保証書

[ Blank page ]

# 目次

1.	はじめに	3
2.	特長	3
3.	検定付き計量器	4
4.	用語の解説	4
5.	仕様	5
5.1.	構成	5
5.2.	本体仕様	5
5.3.	外形寸法	6
6.	各部の名称と機能	7
6.1.	各部の名称	7
6.2.	スイッチ機能	8
6.3.	表示部の説明	9
7.	ご使用の準備	10
7.1.	設置	10
7.2.	機器を運ぶ時は	11
7.3.	電源の準備	13
7.3.1.	ACアダプタを使用する場合	13
7.3.2.	乾電池を使用する場合	14
7.4.	始業前点検	15
7.4.1.	電源投入前	15
7.4.2.	電源投入後	15
7.5.	時計設定	16
7.6.	プリンタの準備	17
8.	操作方法	19
8.1.	測定	19
8.2.	車いすの重さを引いてはかる（プリセット風袋引き測定）	20
8.2.1.	車いすの重さとして10.0 kg引くとき	20
8.2.2.	車いすの重さを変更するとき	21
8.3.	風袋引き測定	22
8.4.	BMIを計算する	23
8.4.1.	体重を先に測定する	23
8.4.2.	身長値を先に入力する	24
8.5.	ファンクション設定	25
8.5.1.	ファンクション設定方法	25
8.5.2.	ファンクション一覧	26
9.	通信機能（RS-232C インターフェース）	28
9.1.	標準RS-232C インターフェース	28
9.2.	データフォーマット	30
9.2.1.	出力データフォーマット	30
9.2.2.	入力データフォーマット	33
9.2.3.	2又通信ケーブル AX-KO6653 の接続	35
10.	保守	36
10.1.	保守点検と安全管理	36
10.2.	清掃	36
10.3.	定期点検	36
10.3.1.	電源投入前	36
10.3.2.	電源投入後	37
10.4.	廃棄	37
10.5.	修理を依頼される前に	37
11.	アクセサリ・オプション	38
12.	重力加速度の大きさの範囲	38

13.	アフターサービス・保証.....	39
13.1.	保証期間.....	39
13.2.	免責事項.....	39
13.3.	製品に関するご質問・ご相談窓口.....	39

# 1. はじめに

このたびは、エー・アンド・デイのバリアフリースケール AD-6106R をお買い求めいただき誠にありがとうございます。  
この取扱説明書は、AD-6106R の操作方法ならびに保守、仕様について記述したものです。

本器をご理解いただき、十分にご活用いただくためにご使用前に本書をよくお読みになり、いつでも見られる所に大切に保管してください。

# 2. 特長

AD-6106R は、病院、健康診断、介護施設など医療介護関係向けの車いす用体重計です。以下の特長があります。

- バリアフリー仕様
- 専用スタンドにより運びやすくなっています。
- 簡単な操作で体重の測定ができます。
- 拡張端子による通信出力機能（RS-232C 準拠）があります。
- BMI の計算

## 3. 検定付き計量器

AD-6106R は、「取引」または「証明」の計量に使用可能な検定付き計量器です。

検定付き計量器を使用するための事項が計量台の銘板に記載されています。以下の注意事項を熟読の上で正しくご使用ください。

### 使用地域の制限

検定付き計量器を「取引」または「証明」に使用する場合、使用できる地域は重力加速度で制限されています。決められた重力加速度範囲の地域で使用してください。重力加速度範囲は、計量台の銘板に記載されています。

※ 使用地域については、「12. 重力加速度の大きさの範囲」を参照してください。

### ひょう量と最小測定量、目量

「取引」または「証明」の計量に使用する「ひょう量」と「最小測定量」、「目量」は計量台の銘板および表示部に記載されています。

「取引」とは、計量法の「有償であると無償であることを問わず、物又は役務の給付を目的とする業務上の行為」をいいます。

「証明」とは、計量法の「公に又は業務上他人に一定の事実が真実である旨を表明すること」をいいます。

### 使用温度範囲

「取引」または「証明」の計量に使用する「使用温度範囲」は、計量台の銘板に記載されています。

### 定期検査

本器を「取引」または「証明」に使用する場合、計量器の器差および性能が一定の基準内に維持されているか、計量法施行令第 11 条により 2 年ごとに定期検査が義務付けられています。

当定期検査は、都道府県の指定した施設にて行いますので、詳細は各都道府県計量検定所にお問合せください。

定期検査を行う際は、表示固定を解除してご使用ください。

※ 表示固定の解除については、「8.5. ファンクション設定」を参照してください。

「はかり」は、長期間使用していると精度の狂いを生ずることがあります。

性能維持のため定期点検をお奨めします。定期点検については、弊社にお問合せください。

※定期点検については、「10.3. 定期点検」を参照してください。

### 校正

検定付き計量器の校正は、ユーザでは行えません。お買い求めの販売店にご相談ください。

## 4. 用語の解説

用語	解説
ひょう量	はかりが計量可能な最大の質量を表します。本機のひょう量は 200 kg です。
目量	はかりの 1 つの目盛の量を表し、デジタル表示の場合、数字が切り替わる間隔を表します。本機は質量に応じて以下になります。100 g (150 kg 未満)、200 g (150 kg 以上) です。
風袋引き	風袋の質量を差し引いて正味量を測ることを表します。 風袋の質量（風袋量）とは、計量時に使用する着衣などの質量のことです。
正味量	総量から風袋量を差し引いた正味の質量を表します。
プリセット風袋引き	計量時に風袋の質量を測ることなく、事前に把握している着衣などの質量を入力して風袋設定した値を表します。本器では「車いす引」「PT」として表現しています。
総量	風袋量又はプリセット風袋量と正味量を足した質量値を表します。

## 5. 仕様

### 5.1. 構成

搭載機能 \ 型名	AD-6106R AD-6106RL
デジタルLCD表示	○
体重測定	○
風袋引き測定	○
プリセット風袋引き測定	○
手すり	○
印字機能	オプション

### 5.2. 本体仕様

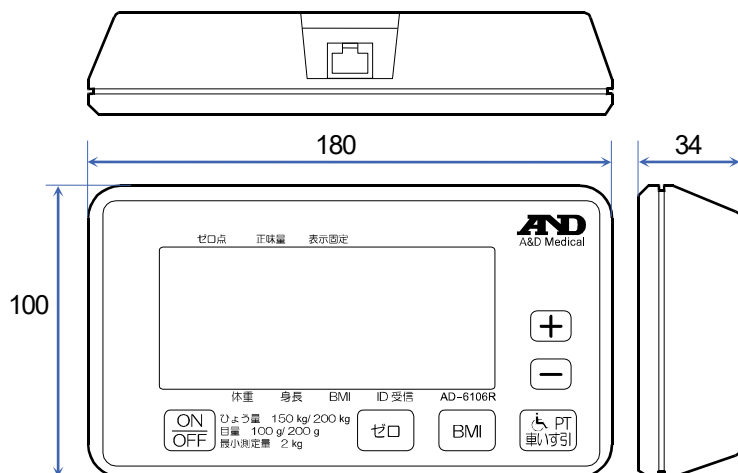
項目	仕様
型名	AD-6106R AD-6106RL
販売名	バリアフリースケール (車いす用)
精度等級	3級
ひょう量	200 kg
目量	100 g (150 kg 未満) / 200 g (150 kg 以上)
最小測定量	2 kg
最大減算風袋量	90 kg 以下
使用温湿度範囲	温度 : +5 °C ~ +35 °C、湿度 : 85 %RH 以下
保存温度範囲	温度 : -10 °C ~ +60 °C
表示	7セグメント液晶表示、メイン画面 : 文字高 23 [mm]
電源	単1形アルカリ乾電池 : 4本 または、ACアダプタ
乾電池寿命	連続動作(アルカリ乾電池使用時) 200時間以上
計量台寸法	845 (W) x 947 (D) x 79 (H) [mm]
質量	約 20 kg (計量台 約 18 kg、ACアダプタ・乾電池・専用スタンドを含まず)、 専用スタンド(AD-6106Rのみ) 約 7 kg
耐用期間	設置後 5年 弊社データによる自己認証。 (正規の保守点検などの推奨された環境で使用した場合のデータです。使用状況により差異が生じることがあります。)

※ 乾電池の寿命は、周囲の環境や温度により異なります。

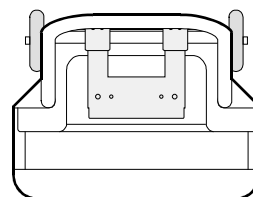
## 5.3. 外形寸法

### 表示器

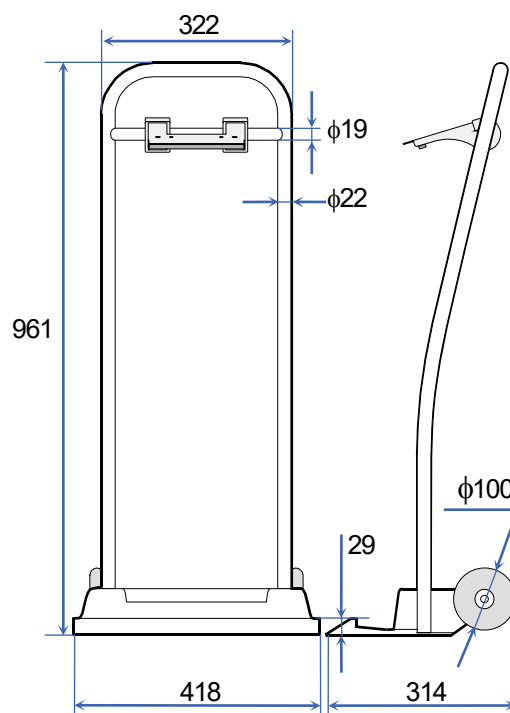
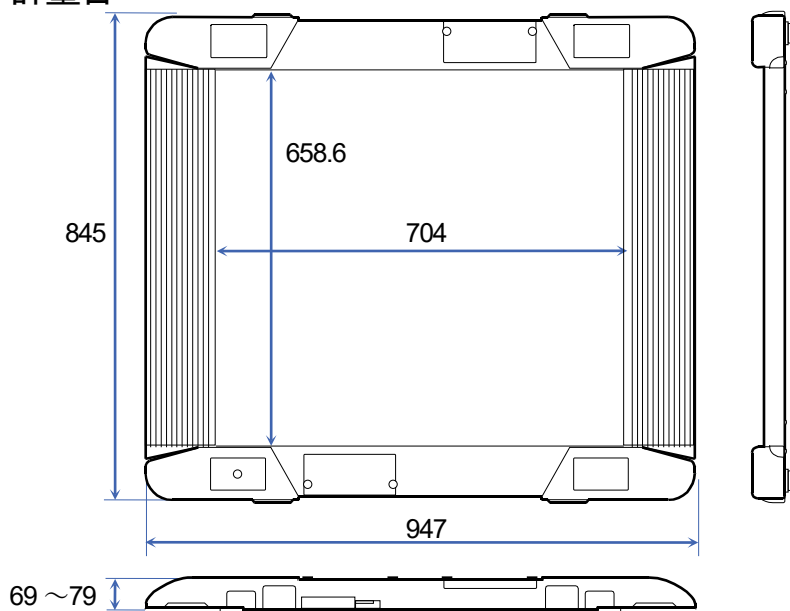
単位：mm



### 専用スタンド (AD-6106R のみ)



### 計量台

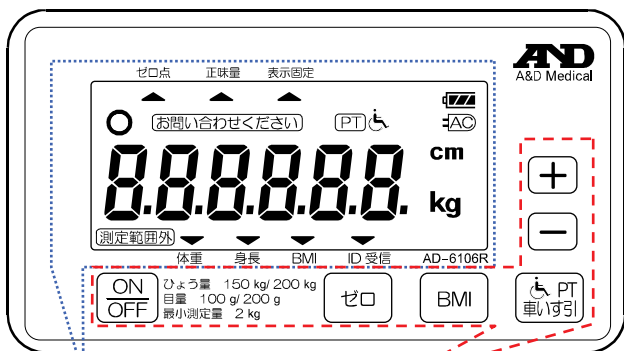




# 6. 各部の名称と機能

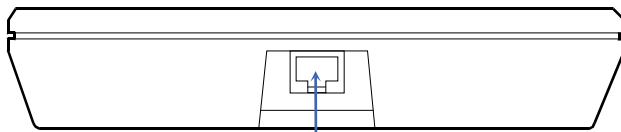
## 6.1. 各部の名称

### 表示器

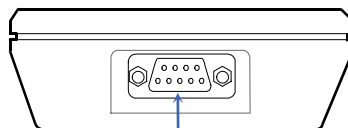


表示とマーク

スイッチ

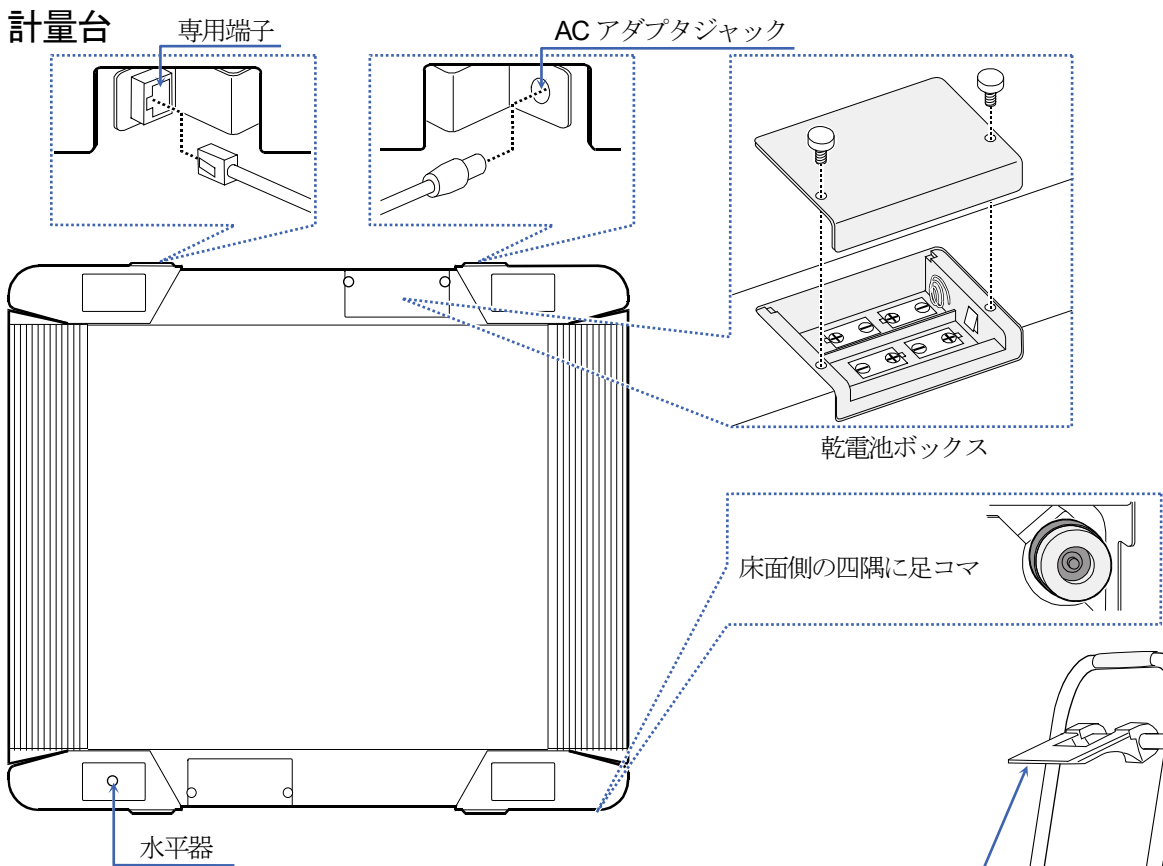


専用端子

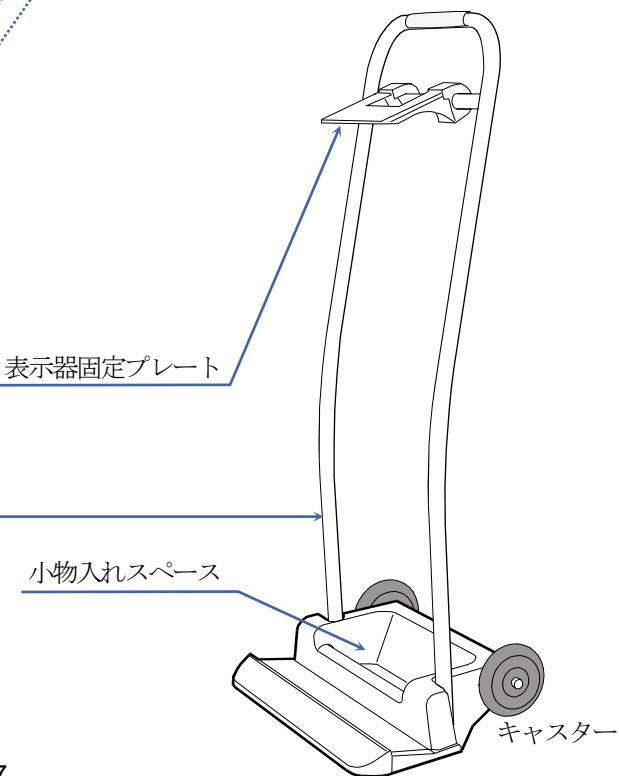


拡張端子 (D-sub9 ピンコネクタ)

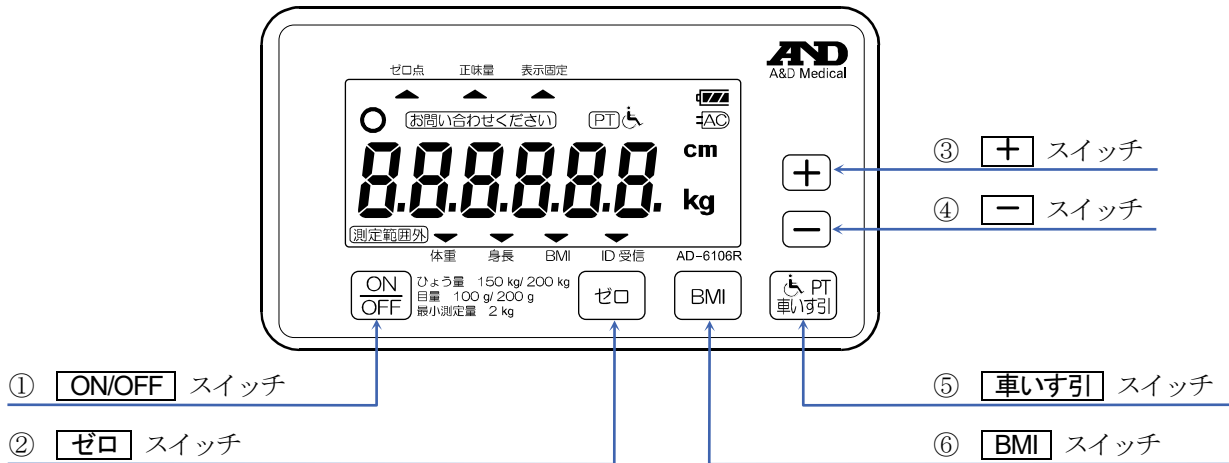
### 計量台



### 専用スタンド (AD-6106R のみ)



## 6.2. スイッチ機能



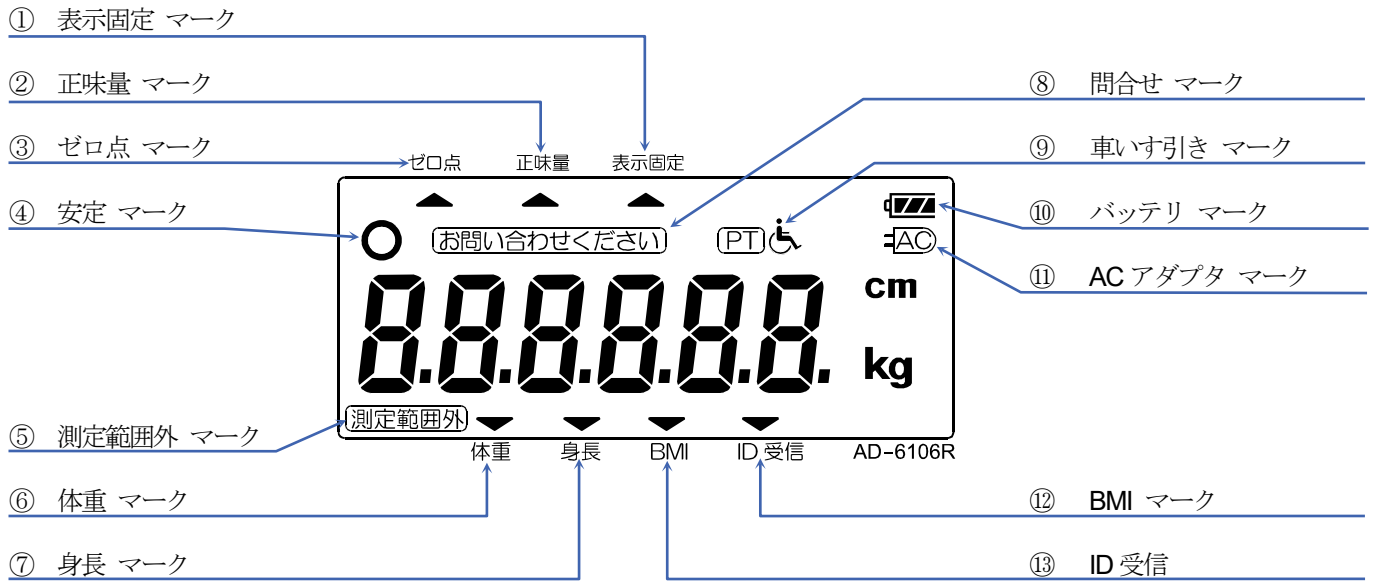
番号	名称	機能
①	ON/OFF	電源のオン・オフを行います。電源オンで測定状態になります。 <b>※1</b>
②	ゼロ	表示を 0.0 kg にするとき押します。
③	+	値を増加させます。
④	-	値を減少させます。
⑤	車いす引	事前に車いすの重さを差し引くときに押します。初期値 10.0 kg。(プリセット風袋引き)
⑥	BMI	BMI を計算して、表示します。



**※1** 本器はオートパワーオフ機能がついています。この機能は電源 ON 後、約 5 分間スイッチ操作がなく計量台に何も載っていない状態が続くと、自動的に電源 OFF になります。(AC アダプタで動作しているときは、自動的に電源 OFF になりません。)

このオートパワーオフ機能の設定は、ファンクションにて動作設定することができます。

詳しくは「8.5. ファンクション設定」を参照してください。

### 6.3. 表示部の説明





番号	名称	説明
①	表示固定 ▲	安定した体重値を一定時間表示しつづけるとき点灯します。
②	正味量 ▲	風袋引き測定、車いす引き(プリセット風袋)測定をしている間、点灯します。
③	ゼロ点 ▲	体重値が 0.0 kg のとき点灯します。
④	安定 ○	安定マーク。 体重が安定すると点灯します。
⑤	測定範囲外 測定範囲外	計量値が 201.6 kg を超えたときと、-1.9 kg 未満のときに点灯します。
⑥	体重 ▼	BMI 測定で体重値を表示しているときに点灯します。
⑦	身長 ▼	身長を入力しているときに点滅し、決定すると点灯します。
⑧	お問い合わせください	製品の異常(故障)を検知した時点灯します。
⑨	PT 車いす	車いす引き(プリセット風袋)測定をしている間、「正味量」マークと共に点灯します。
⑩	バッテリー	バッテリーマーク。 乾電池の残量に応じて点灯します。乾電池交換の目安にしてください。  ..... 乾電池は十分にあります。  ..... 少し少なくなりました。  ..... 残りわずかです。早めに交換してください。  ..... 直ちに交換が必要です。
⑪	ACアダプタ	ACアダプタで動作しているとき点灯します。
⑫	BMI	BMI を計算・表示している時に点灯します。
⑬	ID受信	拡張端子から被測定者 ID が入力されたとき点灯します。

## 7. ご使用の準備

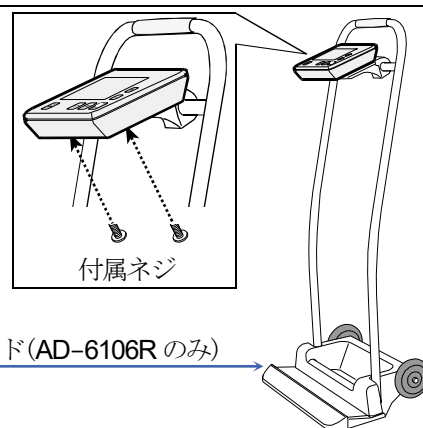
### 7.1. 設置

#### ⚠️ 注意

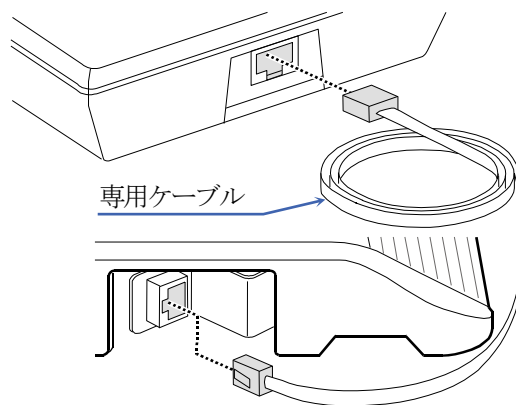
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 設置の際には、傾斜、振動、衝撃の無い水平で安定した場所に設置してください。製品の設置不安定により、つまずき、怪我をする恐れがあります。</li><li>■ 本器は、ひょう量（200 kg）と本器質量に十分耐え得る場所に設置してください。</li><li>■ 本器に腰かけないでください。破損する恐れがあります。</li><li>■ 計量台の下に物が入り込んだ状態や、周囲の壁等との接触は避けてください。測定に影響します。</li><li>■ 設置されていることを周囲にお知らせください。知らない方が転倒する恐れがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 本器は重量物のため、本器を設置・移動する時に手や足をはさまないようにご注意ください。</li><li>■ 本器は稼働する部分があります。設置、移動時に手をはさまないようにご注意ください。</li></ul>

#### 手順

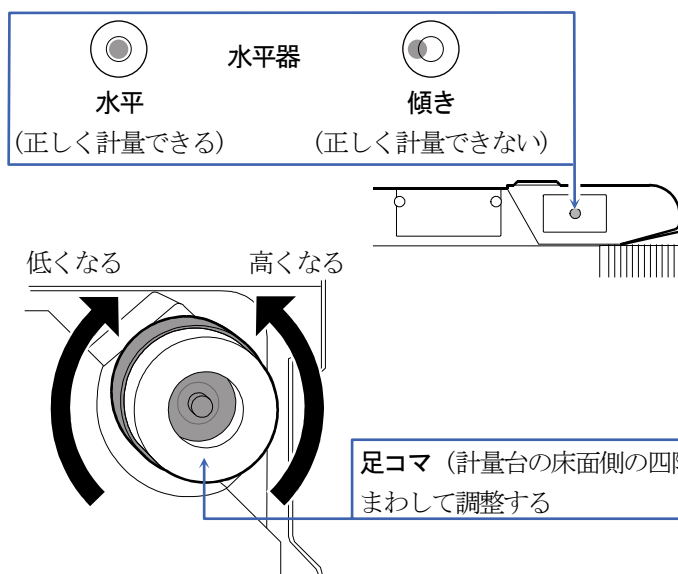
1. 梱包箱から本器を取り出します。
2. 図の → ように専用スタンドに表示器を付属ネジ M4 で固定してください。（AD-6106RL には付属しません）
3. 表示器と計量台を付属の専用ケーブルで接続します。
4. 水平器の円（赤色）の中に気泡がくるように、計量台の四隅の足コマを回して高さを調整します。計量台の足コマ以外の部分が床や壁等と接触しないように注意してください。




専用スタンド(AD-6106Rのみ)



専用ケーブル



#### ⚠️ 注意

	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 計量台を安定した・堅牢で平らな床面(場所)に設置してください。</li><li>■ 足コマは、調整範囲(約 15 mm)以上に伸ばさないでください。転倒や破損の原因になります。</li></ul>
-------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 7.2. 機器を運ぶ時は

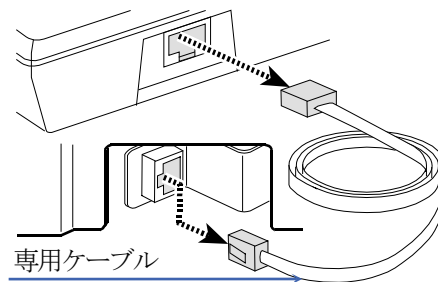
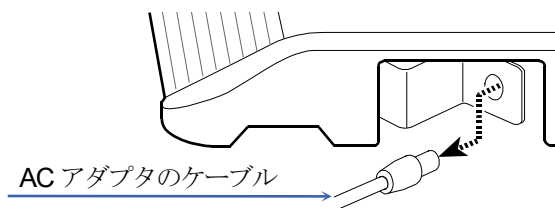
### ⚠ 警告



- 機器を移動するときは、専用スタンドをご使用ください。
- 移動するときは下記の手順をすべて厳守してください。転倒するなど、計量台が専用スタンドから外れ、怪我をする恐れがあります。
- 専用スタンドをご使用の際は計量台と表示器からケーブルを取り外してください。ケーブルを引っ掛け、破損する恐れがあります。

### 手順

1. ケーブル類をすべて取り外します。

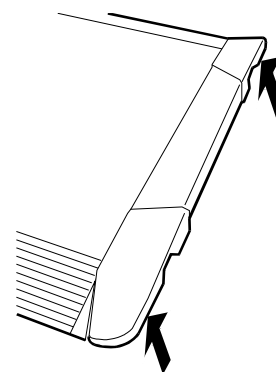


2. 計量台の四隅に手を差し込み持ち上げます。

### ⚠ 警告



- 持ち上げるときは取っ手に手を入れて起こしてから持ち上げてください。守らないと、手など切ったり、製品を落としたりして、怪我をする恐れがあります。
- 無理な姿勢で持ち上げないようにしてください。腰などを痛める可能性があります。



3. 足などを挟まないように用に注意して、専用スタンドの図の受け部分に、計量台の銀色の部分をあわせておいてください。

4. 表示器プレートを下げて「固定フック」でしっかり固定してください。

### ⚠ 警告



- 表示器プレートでしっかり計量台を固定しないと計量台が倒れたり怪我をする原因になります。

### ⚠ 注意



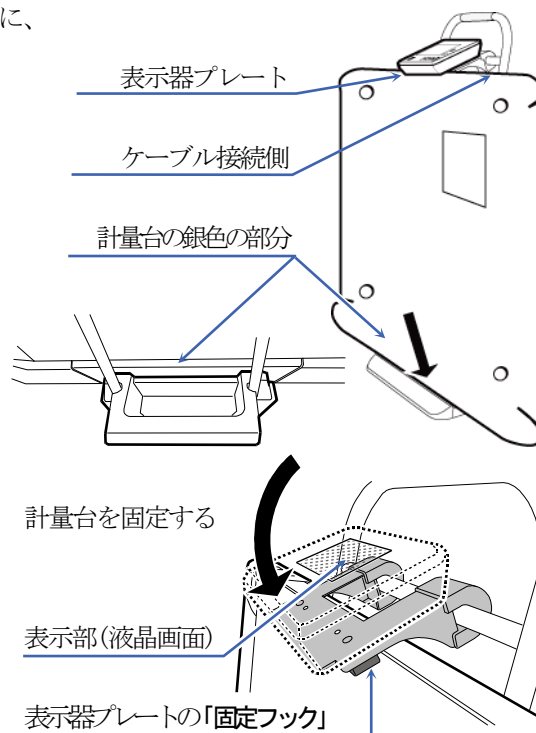
- 専用スタンドを載せるときに、計量台と足や指を挟まないように注意してください。



- 専用スタンドで製品および付属品以外の物を運ばないでください。

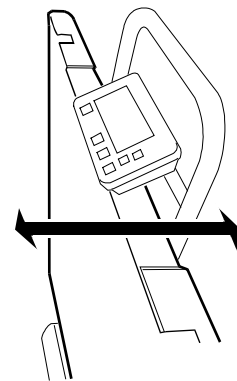


- 表示器プレートを下げる時、表示器の表示部(液晶画面)を押さないでください。怪我や破損の原因になります。



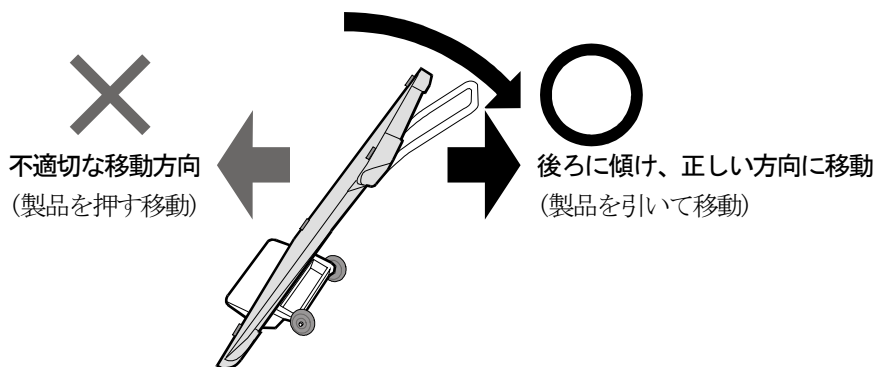
5. 計量台がガタつかず、専用スタンドを前後に傾けても計量台が外れないことをご確認ください。

計量台が外れないことを確認

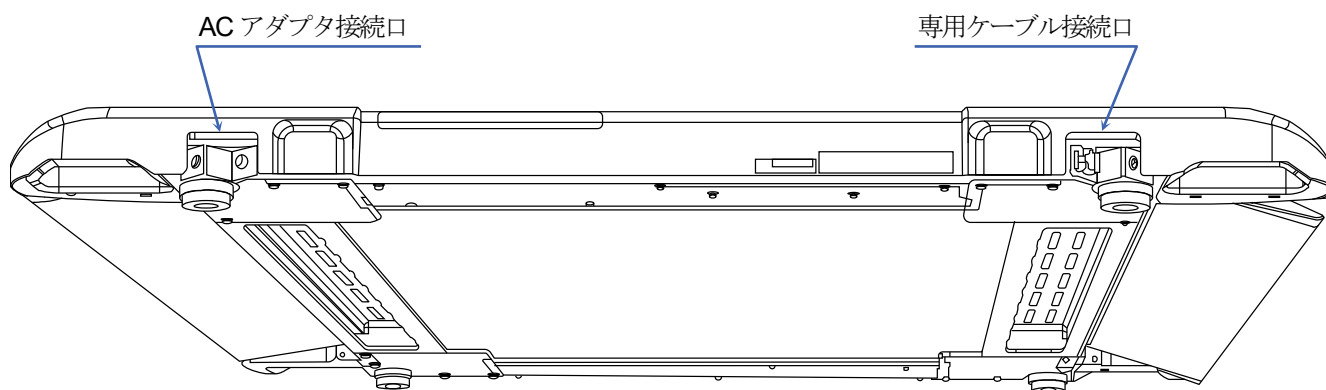


6. 専用スタンドを後方に適度に傾け、図のように傾けた方向へ移動してください。

<b>⚠ 警告</b>	
<b>!</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動するとき、図のように後ろに傾けて、周囲にご注意したうえで、製品を引く方向で移動してください。不適切な移動方向では、前に倒れこみ怪我をする恐れがあります。</li> </ul>



7. 上から見て、ACアダプタのケーブル接続口と、専用ケーブルの接続口が上部に見える事を確認してください。



<b>⚠ 注意</b>	
<b>!</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専用スタンドに固定するときは、必ずケーブルを外して、上面に接続口が見えるようにしてください。接続口を下にすると、製品故障の原因となります。</li> </ul>

8. 設置の際は逆の手順でしてください。設置の手順は「7.1. 設置」も参照してください。

### 警告



- 設置のときは図の正しい位置に手を入れてください、守らないと手などを切り、怪我をする恐れがあります。

9. 専用スタンドの角度により横方向に移動できるようになります。

### 警告



- 横方向へは位置の調整や、ドアを通るときなど、補助的な移動のときにお使いください。

## 7.3. 電源の準備

### 7.3.1. ACアダプタを使用する場合

#### 警告



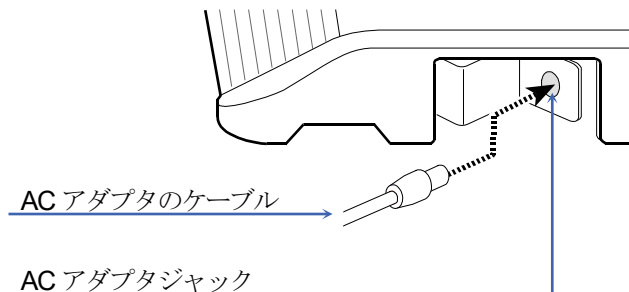
- 電源電圧は交流 100 V でご使用ください。

#### 注意



- AC 電源をご使用の場合は付属の AC アダプタをご使用ください。
- AC アダプタは、必ず弊社製品指定の専用アダプタ品をご使用ください。弊社指定外の物を使用した場合、火災、感電、または製品故障の原因となります。

1. 専用 AC アダプタのケーブルを計量台の AC アダプタジャックに差し込んでください。



## 7.3.2. 乾電池を使用する場合

### ⚠注意

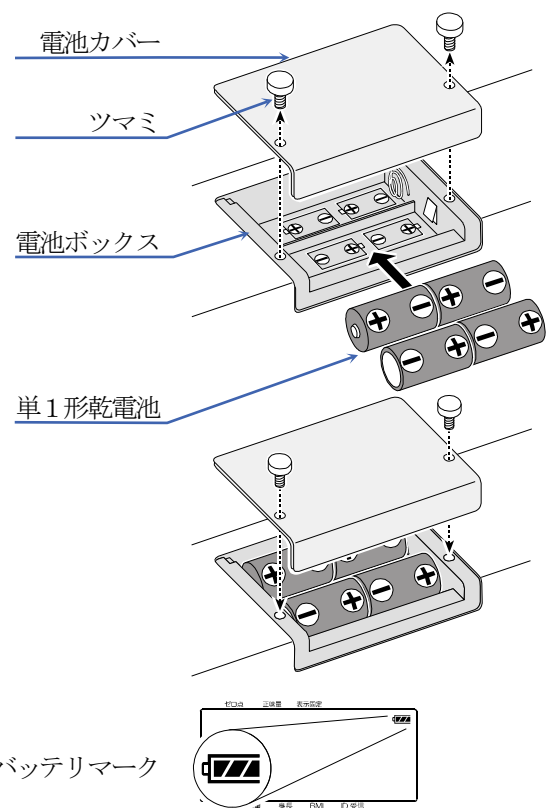


- 乾電池の+-の方向を間違えないように入れてください。
- 乾電池は、異なる種類や別の銘柄の乾電池を混ぜて使わない。
- 古い乾電池と新しい乾電池を混ぜて使わない。
- 長期間使用しない場合、あるいは専用 AC アダプタのみで使用する場合は、乾電池を取り外してください。
- 乾電池を入れたまま放置すると、液漏れが起こり故障の原因となります。
- 乾電池の液漏れによる修理は保証期間内でも有償修理になります。
- 乾電池の液が体についたら、すぐにその部位を水でよく洗い流してください。

※ 乾電池は付属していません。ご使用の場合は別途ご購入ください。

### 手順

1. 計量台の電池カバーのツマミをゆるめて、カバーを外します。
2. 電池ボックスに、+-の方向に注意して、同じ種類の新しい単1形乾電池を4個入れます。
3. カバーを取り付けて、固定します。



### 乾電池の交換時期

乾電池の残量に応じてバッテリーマークが点灯します。

乾電池交換の目安にしてください。

- ..... 乾電池は十分にあります。
- ..... 少し少なくなりました。
- ..... 残りわずかです。早めに交換してください。
- ..... 直ちに交換が必要です。

乾電池ケースだけのマーク が点灯すると、動作できません。  
直ちに乾電池を交換してください。

### お知らせ

- が点灯したら、新しい単1形乾電池の4個に交換してください。



## 7.4. 始業前点検

### 注意



- 安全に正しく使用するため始業前点検は必ず行ってください。

- 一日の最初に使用するとき、以下の始業前点検を行ってください。

### 7.4.1. 電源投入前

- 電源投入前に下記点検を行い、問題が無いことを確認してご使用ください。

項目	内容
外観	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 変形や破損はないか</li><li>■ 各部に汚れ、サビ、キズ等はないか</li><li>■ パネル類に割れやガタつき等はないか</li><li>■ スイッチ類に破損やガタつき等はないか</li><li>■ 結露や水濡れはしていないか</li></ul>
計量台	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 計量台、手すりのガタつき、固定異常はないか</li><li>■ 足コマは4箇所付いているか、ガタつき、破損等はないか</li><li>■ 計量台は、水平で安定した場所に設置されているか（水平器で確認）</li></ul>

### 7.4.2. 電源投入後

- 電源投入後に下記点検を行い、問題が無いことを確認してご使用ください。

項目	内容
外観	<ul style="list-style-type: none"><li>■ けむりが出る、変なにおいはないか</li><li>■ 異常な音が聞こえないか</li></ul>
体重測定	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 実測し、体重値及び測定動作に異常はないか</li></ul>
データ処理 (他 PC 等への接続の場合)	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 正常に通信可能か</li><li>■ データに異常はないか</li></ul>
スイッチ・ボタン	<ul style="list-style-type: none"><li>■ スイッチ、ボタン類の動作に異常はないか</li></ul>
表示	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 文字欠け等表示異常はないか</li></ul>

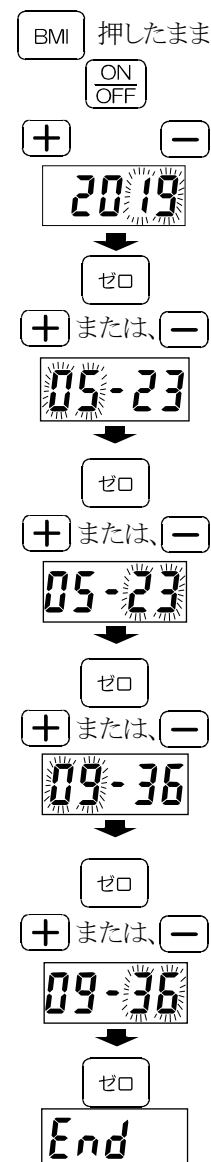
- 上記の「始業前点検」で、設定などにズレがある場合、本書をご参照の上、修正を行ってください。

## 7.5. 時計設定

- 日付・時刻は拡張端子により、測定データと共に出力され、印字などがされます。  
もし時刻がずれている場合は、下記の方法で日付・時刻を設定してください。

### 設定手順

1. 測定 OFF の状態にします。
2. **BMI** スイッチを押した状態で、**ON/OFF** スイッチを押します。
3. 画面に「年」が点滅表示します。**+**、**-** スイッチで西暦を合わせてください。
4. **ゼロ** スイッチを押すと、「年」が設定され、画面に月日が点灯し、「月」が点滅表示します。
5. **+**、**-** スイッチでお使いの月に合わせてください。
6. **ゼロ** スイッチを押すと「月」が設定され、画面の「日」が点滅表示します。
7. **+**、**-** スイッチでお使いの「日」に合わせてください。
8. **ゼロ** スイッチを押すと、「日」が設定され、画面に時分が点灯し、「時」が 24 時間表記で点滅表示します。
9. **+**、**-** スイッチでお使いの時に合わせてください。
10. **ゼロ** スイッチを押すと「時」が設定され、画面の「分」が点滅表示します。
11. **+**、**-** スイッチでお使いの分に合わせてください。
12. **ゼロ** スイッチを押すと「分」が設定され、画面に「End」が表示し、設定は完了します。
13. このとき、時計は 00 秒よりスタートします。



### お知らせ

- 年データの設定可能範囲は、2017 ~ 2099 年です。
- 本器の時計は、24 時間制です。(閏年対応)
- 時計設定中に **ON/OFF** スイッチを押すなどして時計設定モードを抜けた場合、変更した時刻データは設定されません。
- 本器の日付・時刻データは、リチウム電池でバックアップされています。

## 7.6. プリンタの準備

- プリンタを使用することで、測定結果を印字できます。

プリンタ : **AD-PR580**

- プリンタ本体
- AC アダプタ
- AC コード

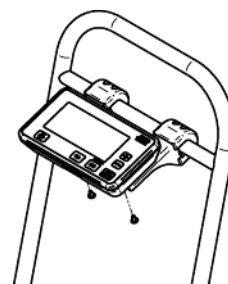
- AD-6106R は、専用スタンドにプリンタを取り付けられます。  
専用スタンドにプリンタを取り付けるには、以下のオプションが必要です。

プリンタオプション : **AD-PR580-008**

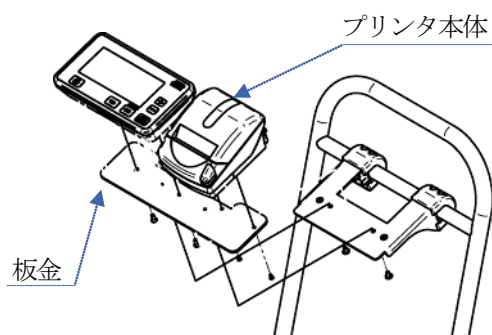
- 板金
- ネジ2種類 (それぞれ 2本)
- D-sub ケーブル AX-KO3937

### プリンタの取付手順 :

1. 専用スタンドの表示器固定プレートから表示器を取り外します。

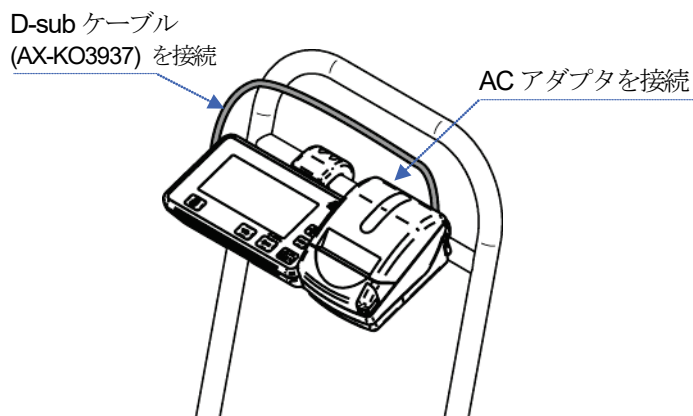


2. 表示器とプリンタ本体を、板金に取り付けます。



3. 表示器とプリンタ本体を取り付けた板金を表示器固定プレートに取り付けます。

4. オプションの D-sub ケーブル (AX-KO3937) を表示器とプリンタに接続します。



5. プリンタに、プリンタの AC アダプタを接続します。

6. 以下の表に従ってAD-6106Rのファンクション設定をしてください。

プリンタ接続時のファンクション設定

項目	設定値	設定内容	
F05	3	出力タイミング	オート出力D
F06	1	通信フォーマット	標準プリンタフォーマット
F08	0	ボーレート	2400 bps
F09	0	パリティ	偶数 (EVEN)
F10	0	終端	CRLF
F11	0	データ長	7 bit

※初期設定のまま（工場出荷時設定のまま）でプリンタ接続できます。

## 8. 操作方法

### ⚠️ 注意

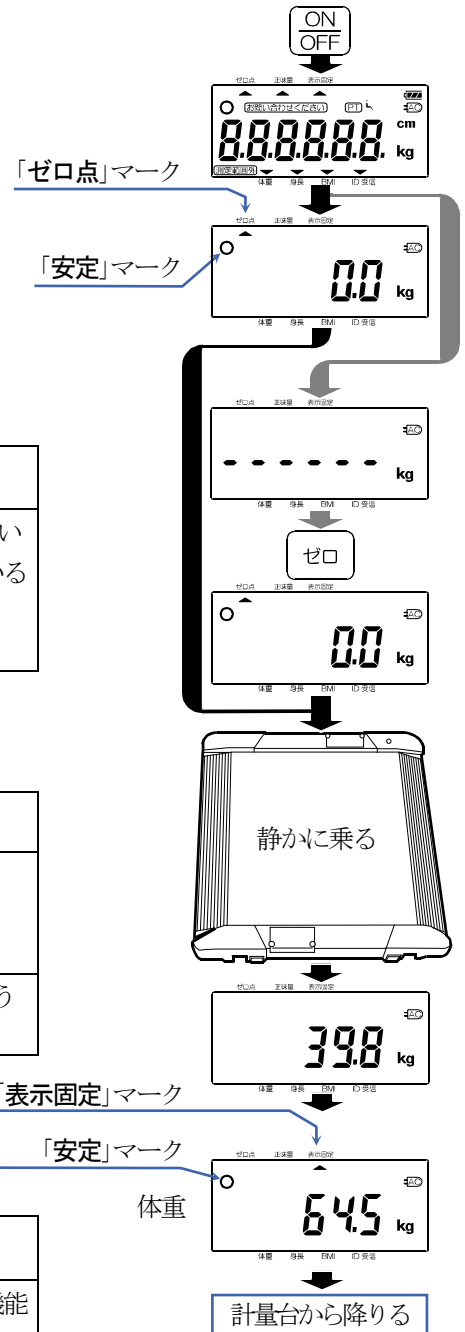


- 本器には角や段差があります。計量台の端に乗ることや、つまずきや、怪我をしないようにご注意ください。
- 乗り降りはスロープの方向からしてください。

### 8.1. 測定

#### 手順

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。「7.3. 電源の準備」参照。
2. **ON/OFF** スイッチを押して測定状態にします。
3. 全点灯表示後、0.0 kg 表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。  
0.0 kg 表示になっていない場合は、**ゼロ** スイッチを押してください。  
----- が点滅後、安定したら 0.0 kg になります。  
計量台にモノが載った状態で電源を入ると、全点灯表示後 ----- 表示になります。計量台からモノを降ろしてください。



### お知らせ

- 乾電池で動作しているとき、約5分間スイッチ操作がなく計量台に何も載っていない状態が続くと、自動的に電源OFFになります。(ACアダプタで動作しているときは、自動的に電源OFFになりません。)
- 「8.5. ファンクション設定」参照。

4. 計量台に静かに乗ります。

### ⚠️ 注意



- 測定を開始したら被測定者以外は体重計に触れないでください。測定誤差の原因になります。
- 測定中は体を動かさないでください。測定誤差の原因となります。



- 計量台に乗るときには、本器と車いすの間に手や足を挟まないようにご注意ください。

5. 体重が安定すると、「安定」マークと「表示固定」マークが点灯し、体重値が表示固定されます。

### お知らせ

- 表示固定は、体重計が一度安定すると、 $\pm 3$  kg の変動があるまで表示し続ける機能です。体重値が 5 kg 以上の場合に適用されます。
- 体重値に  $\pm 3$  kg の変動があると表示固定は解除されます。(設定により7秒経過すると解除することもできます。)
- 体重値が 201.6 kg を超えると表示範囲外になり、**E** を表示します。

6. 測定が終了したら計量台から静かに降ります。  
測定しないときは **ON/OFF** スイッチを押して電源OFFにします。

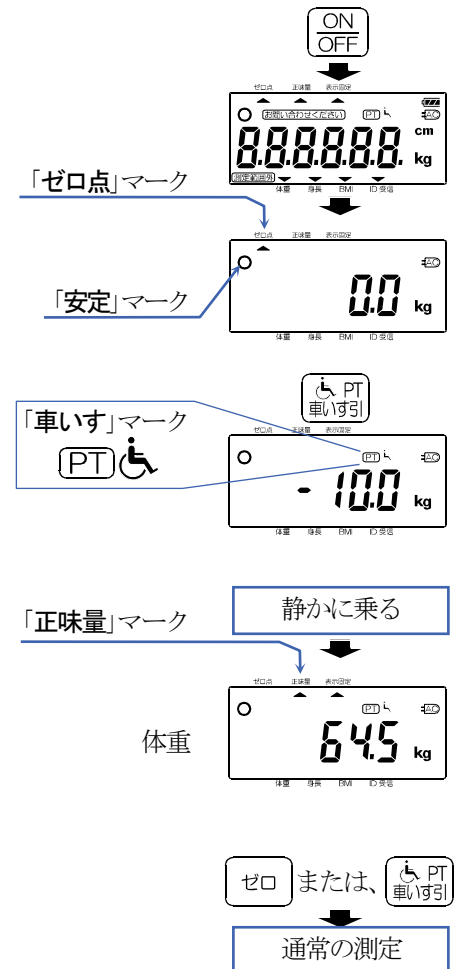
## 8.2. 車いすの重さを引いてはかる（プリセット風袋引き測定）

### 8.2.1. 車いすの重さとして10.0 kg 引くとき

- プリセット風袋機能を使用することで、車いすの重さをあらかじめ引くことができます。プリセット風袋の範囲は 90.0 kg までです。

#### 手順

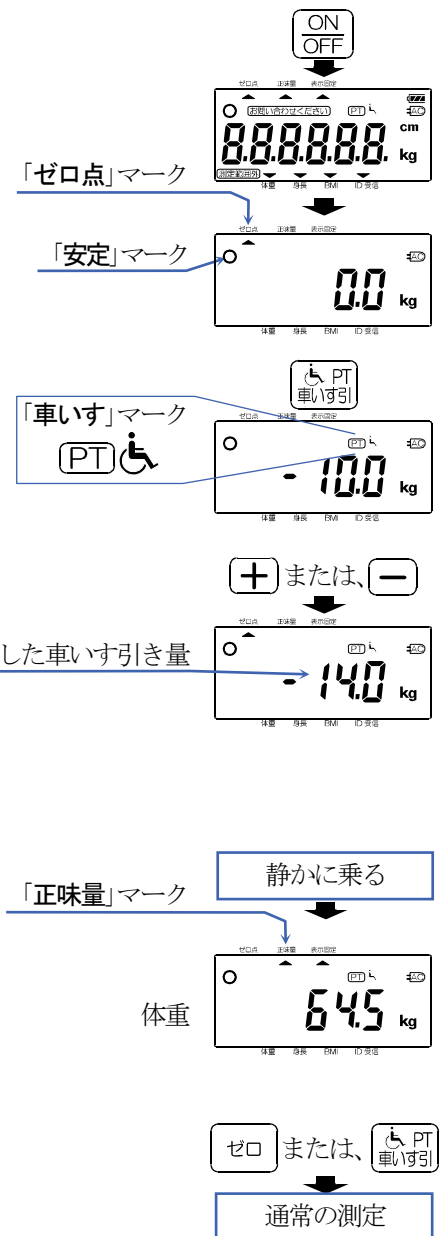
1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。  
「7.3. 電源の準備」参照。
2. **ON/OFF** スイッチを押して測定状態にします。
3. 全点灯表示後、0.0 kg 表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。
4. **車いす引** スイッチを押すと初期の車いす引き量 -10.0 kg が表示され、「車いす」マークが点滅します。
5. スイッチを押してしばらくすると引き量が決定します。  
「正味量」マークが点灯し、車いす引き量が引かれた測定ができます。
6. 計量台に人と車いすが静かに乗ると、体重が表示します。
7. 計量後、計量台から降ります。
8. 通常の測定に戻すには、計量台に何も載せないで、  
**ゼロ** スイッチまたは、**車いす引** スイッチを押します。



## 8.2.2. 車いすの重さを変更するとき

### 手順

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。  
「7.3. 電源の準備」参照。
2. **ON/OFF** スイッチを押して測定状態にします。
3. 全点灯表示後、0.0 kg 表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。
4. **車いす引** スイッチを押すと初期の車いす引き量 -10.0 kg が表示され、「車いす」マークが点滅します。
5. **+**、**-** スイッチを押すと、車いす引き量が 0.1 kg 単位で変更されます。  
変更中は「車いす」マークが点滅し続けます。
6. 変更後、しばらくすると車いす引き量が決定します。  
「正味量」マークが点灯し、変更された車いす引き量が引かれた測定ができます。  
決定時に安定していない場合、**-----** が表示されることがあります。  
安定すれば数値が表示されます。
7. 計量台に人と**車いす**が静かに乗ると、体重が表示します。
8. 計量後、計量台から降ります。
9. 通常の測定に戻すには、計量台に何も載せないで、**ゼロ** スイッチまたは、**車いす引** スイッチを押します。

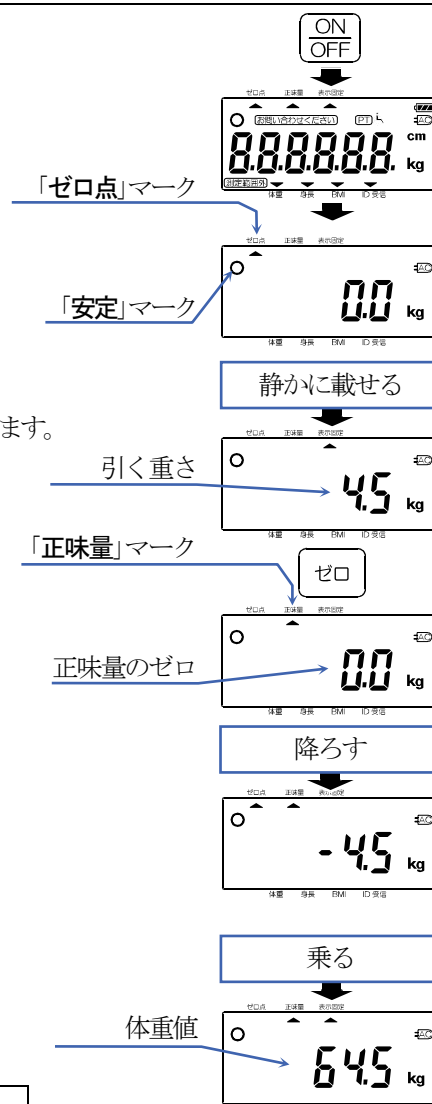


## 8.3. 風袋引き測定

- 風袋引き機能を使用することで、衣服等の実際の重さを測定した結果から引くことができます。  
風袋の範囲は 90.0 kg までです。

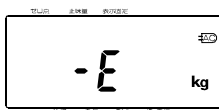
### 手順

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。  
「7.3. 電源の準備」参照。
2. **ON/OFF** スイッチを押して測定状態にします。
3. 全点灯表示後、0.0 kg 表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。
4. 測定した結果から重さを引きたいもの(風袋)を静かに計量台に載せます。  
**ゼロ** スイッチを押すと、「正味量」マークが点灯し、正味量の 0.0 kg を表示します。  
「風袋」とは、例として衣服、器などの「計量しないモノ」を意味します。  
「正味」とは、体重などの「計量するモノ」を意味します。
5. 約 4.0 kg 以下は **-----** 点滅表示後、0.0 kg 表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。  
約 4.0 kg を超える場合は **-----** 点滅表示後、0.0 kg 表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークと「正味量」マークが点灯します。
6. 計量台に載せているものを降ろします。  
引きたいものの量がマイナス表示されます。
7. 計量台に乗ると衣服などを引いた体重値が表示されます。



#### **ゼロ** スイッチ使用時のご注意

- 計量台に載せたモノの質量が 2.0 kg ~ 4.0 kg (例えば 2.0 kg) のとき、  
**ゼロ** スイッチを押すと、表示は 0.0 kg になりますが、  
その後モノを取り除くと、-2.0 kg と表示せずエラーが表示されます。
- 「安定」マークが点灯している場合は、  
**ゼロ** スイッチを押して表示を 0.0 kg にします。
- 「安定」マーク点灯していない場合は、  
一度電源を入れなおしてください。





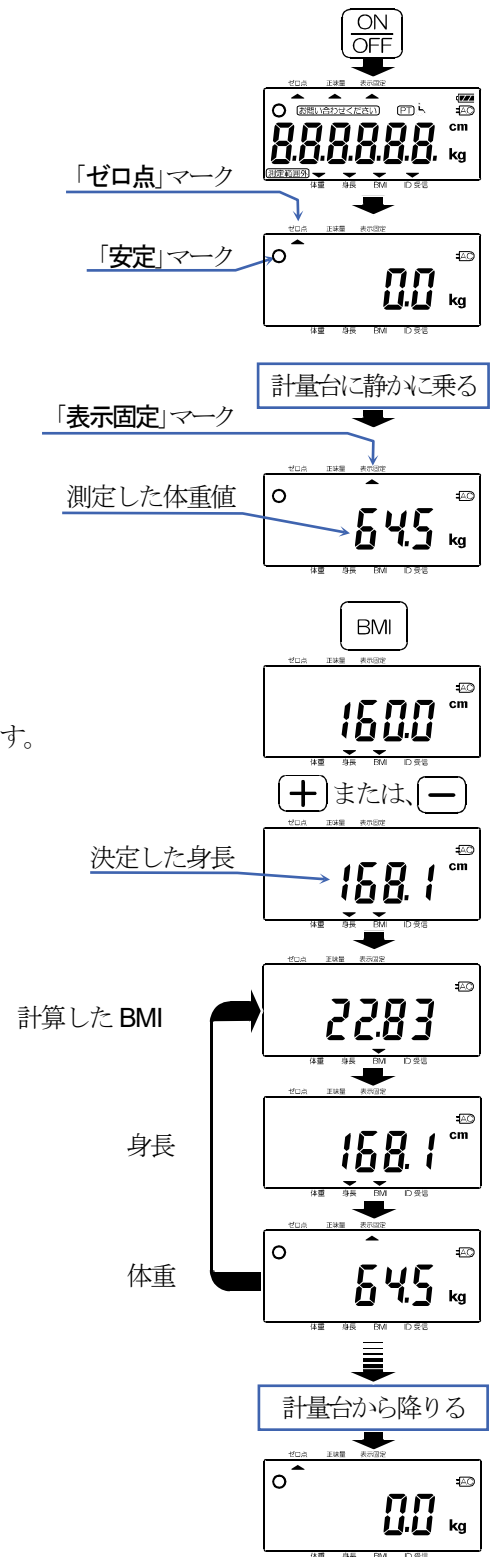
## 8.4. BMI を計算する

- 本器は体重を測定し、身長を入力することでBMIを計算することができます。

### 8.4.1. 体重を先に測定する

#### 手順

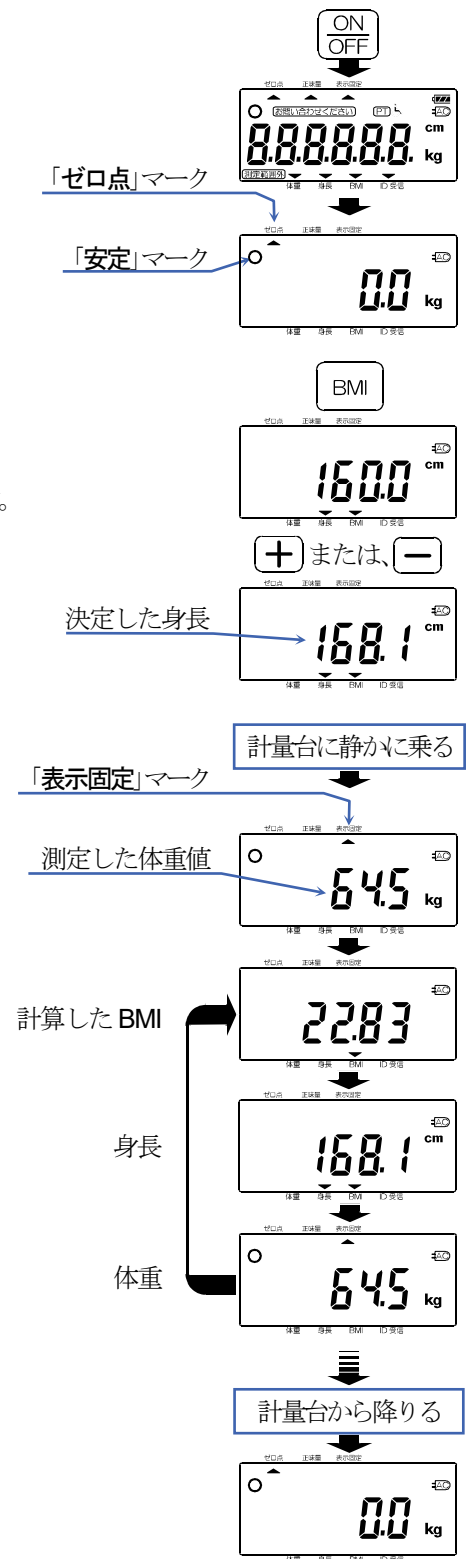
1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。  
「7.3. 電源の準備」参照。
2. **ON/OFF** スイッチを押して測定状態にします。
3. 全点灯表示後、0.0kg 表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。
4. 計量台に静かに乗ります。
5. 体重が安定すると、「安定」マークと「表示固定」マークが点灯し、体重値が表示固定されます。
6. **BMI** スイッチを押すと、身長値が表示されます。
7. **+**、**-** スイッチを押すと、車いす引き量が 0.1 cm 単位で変更されます。
8. 身長値を入力し、しばらくすると身長値を決定します。
9. 身長値が決定すると、BMI を計算して表示します。  
その後、身長、体重、BMI を順に表示します。
10. 計量台から降りると、測定状態に戻ります。



## 8.4.2. 身長値を先に入力する

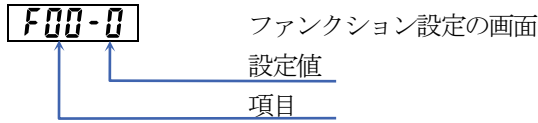
### 手順

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。  
「7.3. 電源の準備」参照。
2. **ON/OFF** スイッチを押して測定状態にします。
3. 全点灯表示後、0.0 kg 表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。
4. **BMI** スイッチを押すと、身長値が表示されます。
5. **+**、**-** スイッチを押すと、車いす引き量が 0.1 cm 単位で変更されます。
6. 身長値を入力し、しばらくすると身長値を決定します。
7. 測定状態になります。計量台に静かに乗ります。
8. 体重が安定すると、「安定」マークと「表示固定」マークが点灯し、体重値が表示固定されます。
9. 身長値が決定すると、BMI を計算して表示します。  
その後、身長、体重、BMI を順に表示します。
10. 計量台から降りると、測定状態に戻ります。



## 8.5. ファンクション設定

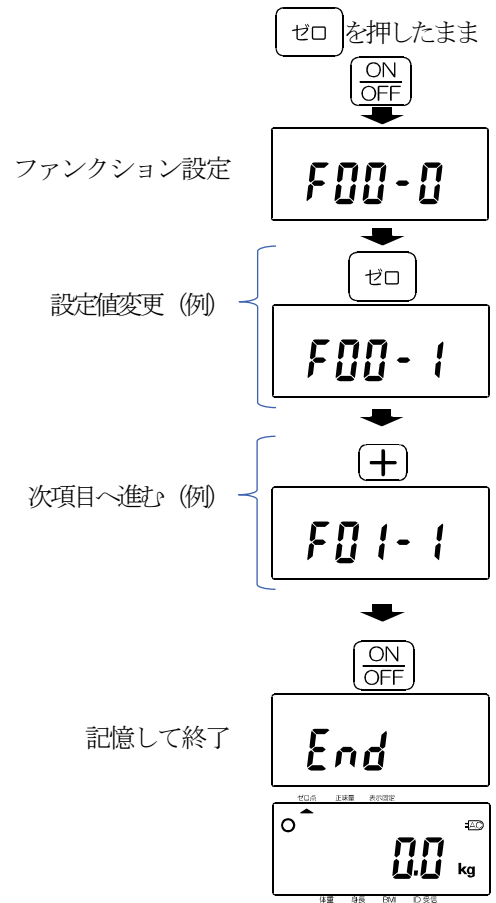
- ファンクション設定は、オートパワーオフ、表示固定、ブザー、通信設定ができます。各項目の設定は、電源を切っても記憶されています。



### 8.5.1. ファンクション設定方法

#### 手順

1. 電源OFFの状態にします。
2. **ゼロ** スイッチを押した状態で、**ON/OFF** スイッチを押します。  
**F00-0** と表示されます。
3. 次のスイッチで各機能を設定します。  
**ゼロ** スイッチ.....設定値が変更されます。  
 例 **F00-0** → **F00-1** と変わります。  
**+** スイッチ.....次の項目へ進みます。  
 例 **F02-2** → **F03-1** と変わります。  
**-** スイッチ.....前の項目へ戻ります。  
 例 **F03-1** → **F02-2** と変わります。
4. 上記の項目の設定が終わったら、**ON/OFF** スイッチを押します。  
**End** 表示となり、設定が記憶されます。



## 8.5.2. ファンクション一覧

- **F00**は、すべての項目を初期設定にします。
- F07**は、**F08** ~ **F11** の項目を初期設定に変更します。
- F17**は、**F18** ~ **F21** の項目を初期設定に変更します。
- F00**、**F07**、**F17** に有効(1)を設定した場合、次回設定時は、初期設定の無効(0)に戻ります。
- ◆ は、初期設定を表します。現在記憶している設定には「安定」マーク○が点灯します。

項目	内容	設定値	設定内容
<b>F00</b>	イニシャル	◆ 0	無効
		1	有効 すべての項目を初期設定に変更します。
<b>F01</b>	オートパワーオフ	0	無し
		◆ 1	5分
		2	10分
		3	15分
		4	30分
<b>F02</b>	表示固定	0	無し
		1	有り 約7秒後に解除
		◆ 2	有り ±3kg 変動で解除
		3	有り ±3kg 変動の約7秒後に解除
<b>F03</b>	ブザー音	0	無し
		◆ 1	有り
<b>F04</b>	通信電源出力設定	◆ 0	無効
		1	拡張端子
<b>F05</b>	拡張端子チャンネル1 出力タイミング	0	オート出力A
		1	オート出力B
		2	オート出力C
		◆ 3	オート出力D
		4	ストリーム
		5	出力なし
<b>F06</b>	拡張端子チャンネル1 通信フォーマット	0	DP フォーマット
		◆ 1	標準プリンタフォーマット
		2	HD フォーマット
<b>F07</b>	拡張端子チャンネル1 通信初期化	◆ 0	無効
		1	有効
<b>F08</b>	拡張端子チャンネル1 ボーレート	◆ 0	2400 bps
		1	4800 bps
		2	9600 bps
<b>F09</b>	拡張端子チャンネル1 パリティ	◆ 0	偶数 (EVEN)
		1	奇数 (ODD)
		2	無し (NONE)
<b>F10</b>	拡張端子チャンネル1 終端	◆ 0	CRLF
		1	CR
		2	LF
<b>F11</b>	拡張端子チャンネル1 データ長	◆ 0	7 bit
		1	8 bit

項目	内容	設定値	設定内容
F 15	拡張端子チャンネル2 出力タイミング	0	オート出力A
		1	オート出力B
		2	オート出力C
		◆ 3	オート出力D
		4	ストリーム
		5	出力なし
F 16	拡張端子チャンネル2 通信フォーマット	0	DP フォーマット
		◆ 1	標準プリンタフォーマット
		2	HD フォーマット
F 17	拡張端子チャンネル2 通信初期化	◆ 0	無効
		1	有効
F 18	拡張端子チャンネル2 ボーレート	◆ 0	2400 bps
		1	4800 bps
		2	9600 bps
F 19	拡張端子チャンネル2 パリティ	◆ 0	偶数 (EVEN)
		1	奇数 (ODD)
		2	無し (NONE)
F 20	拡張端子チャンネル2 終端	◆ 0	CRLF
		1	CR
		2	LF
F 21	拡張端子チャンネル2 データ長	◆ 0	7 bit
		1	8 bit
F 30	拡張端子 入力チャンネル設定	◆ 0	チャンネル1のみ
		1	チャンネル2のみ
F 31	拡張端子 出力チャンネル設定	0	チャンネル1のみ
		1	チャンネル2のみ
		◆ 2	チャンネル1及びチャンネル2
F 32	電源投入時自動出力	◆ 0	有り：電源投入時 AND ON 停止時 AND OFF
		1	無し

※ F32 は対応していない場合がございます。その場合はお問い合わせください。

## 9. 通信機能 (RS-232C インターフェース)

### 9.1. 標準 RS-232C インターフェース

- 本器は、RS-232C クロスケーブルを用いて、外部プリンタ等と接続することができます。  
通信タイミングの設定により、オート出力モード、ストリームモードが設定できます。  
通信条件（ボーレート、データ長、パリティビット、ストップビット）を通信する機器と合わせてください。  
通信タイミングと通信条件の設定は「8.5. ファンクション設定」を参照してください。

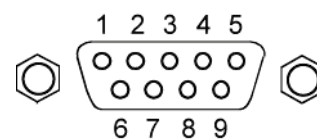
#### インターフェース仕様

入出力規格	EIA RS-232C 準拠	
伝送形式	調歩同期式 (全二重方式)	
通信形式	通信速度	2400、4800、9600 bps 選択可
	データビット長	7 ビット、8 ビット 選択可
	パリティ	無し(NONE)、偶数(EVEN)、奇数(ODD) 選択可
	ストップビット	1 ビット
	使用コード	ASCII

#### ピン接続

コネクタ : D-sub9 ピン (オス)

ピン番号	信号	方向 ※	備考
1	CD	N.C.	
2	RXD	入力	チャンネル1
3	TXD	出力	
4	TXD	出力	チャンネル2
5	SG	-	
6	RXD	入力	チャンネル2
7	TRS	出力	7 ピンと 8 ピンは内部で接続されています。
8	CTS	入力	
9	RI	出力	電源出力



- ※ 本器からみた通信方法です。
- 通信ケーブルは接続する周辺機器に合わせて用意しております。「11. アクセサリ・オプションリスト」を参照してください。本製品は、2チャンネルの入出力を有していますが、コネクタは1つになります、対応するピンはファンクションで設定してください。標準は、**F30-0**、**F31-2** になります。

#### 入力チャンネル設定

ファンクション	チャンネル1 (RXD 2pin)	チャンネル2 (RXD 4pin)
◆ <b>F30-0</b>	○	×
<b>F30-1</b>	×	○

#### 出力チャンネル設定

ファンクション	チャンネル1 (TXD 3pin)	チャンネル2 (TXD 6pin)
<b>F31-0</b>	○	×
<b>F31-1</b>	×	○
◆ <b>F31-2</b>	○	○

◆ は、初期設定を表します。

## 出力タイミング

---

出力タイミングは以下の3つがあります。通信の出力内容は、**F05**及び**F15**の選択によって決定されます。

- 出力なし 出力しません。
- ストリームモード ..... 表示している値を常時出力します。出力されるデータは約4回/秒です。  
風袋データ、IDデータ、時計データは出力しません。
- オート出力モード ..... 値が安定するとデータが1回だけ表示している値が出力されます。  
風袋またはプリセット風袋が設定されている場合は同時に出力されます。  
IDデータが入力されている場合は一度だけIDデータが同時に出力されます。

項目	出力データ内容
オート出力モードA	測定データ
オート出力モードB	測定データ、IDデータ
オート出力モードC	測定データ、時計データ
オート出力モードD	測定データ、時計データ、IDデータ

## 入力

---

出力タイミングがオート出力モードのとき、「9.2. データフォーマット」に記載されているフォーマットでの入力が可能です。

## 9.2. データフォーマット

### 9.2.1. 出力データフォーマット

#### 表記記号

CR は、キャリッジリターン(0x0D)を表しています。  
LF は、ラインフィード(0x0A)を表しています。

CR LF は、終端記号です。設定による変更ができます。  
␣ は、スペース文字(0x20)を表しています。

#### DPフォーマット

ファンクション設定で、「DP フォーマット」を指定した場合のフォーマット。

「拡張端子チャンネル1通信フォーマット」-「DP フォーマット」 **F06 0** 及び、  
「拡張端子チャンネル2通信フォーマット」-「DP フォーマット」 **F16 0**

極性は、+または、- です。

数字の桁数は、データの最上位の桁までで、可変します。 数字の最上位桁の左隣に極性が付きます。

極性と数字の部分について、極性の左側はスペース文字(␣ 0x20)に置き換わります。

##### □ 体重安定 (総量) の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
W	T	␣	␣	␣	␣	極性	数字	数字	数字	数字	.	数字	␣	k	g	CR	LF

例 体重 70.1 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
W	T	␣	␣	␣	␣	␣	+	7	0	.	1	␣	k	g	CR	LF	

##### □ 体重安定 (正味量) の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
N	␣	␣	␣	␣	␣	極性	数字	数字	数字	数字	.	数字	␣	k	g	CR	LF

例 体重 64.5 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
N	␣	␣	␣	␣	␣	␣	+	6	4	.	5	␣	k	g	CR	LF	

##### □ 体重オーバー (総量 プラス・オーバー) の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	E	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	CR	LF

##### □ マイナス計量 (総量 マイナス・オーバー) の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	-	E	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	CR	LF

##### □ 風袋 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
T	␣	␣	␣	␣	␣	極性	数字	数字	数字	数字	.	数字	␣	k	g	CR	LF

例 風袋 5.6 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
T	␣	␣	␣	␣	␣	␣	+	5	.	6	␣	k	g	CR	LF		

##### □ プリセット風袋 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
P	T	␣	␣	␣	␣	極性	数字	数字	数字	数字	.	数字	␣	k	g	CR	LF

例 プリセット風袋 10.1 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
P	T	␣	␣	␣	␣	␣	+	1	0	.	1	␣	k	g	CR	LF	



# 標準プリンタフォーマット

ファンクション設定で、「標準プリンタフォーマット」を指定した場合のフォーマット。

「拡張端子チャンネル1通信フォーマット」-「標準プリンタフォーマット」 

F06	1
-----	---

 及び、  
「拡張端子チャンネル2通信フォーマット」-「標準プリンタフォーマット」 

F16	1
-----	---

極性は、+または- です。

□ 体重安定 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	極性	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	┌	k	g	CR	LF

例 体重 5.1 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	+	0	0	0	0	0	5	.	1	┌	k	g	CR	LF

例 体重 50.5 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	+	0	0	0	0	5	0	.	5	┌	k	g	CR	LF

例 体重 100.5 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	+	0	0	0	1	0	0	.	5	┌	k	g	CR	LF

□ 体重非安定 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
U	S	,	極性	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	┌	k	g	CR	LF

□ 体重オーバー (総量 プラス・オーバー) の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
O	L	,	+	9	9	9	9	9	9	.	9	┌	k	g	CR	LF

□ マイナス計量 (総量 マイナス・オーバー) の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
O	L	,	-	9	9	9	9	9	9	.	9	┌	k	g	CR	LF

□ 風袋 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
T	R	,	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	┌	k	g	CR	LF

例 風袋 1.1 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
T	R	,	+	0	0	0	0	0	1	.	1	┌	k	g	CR	LF

例 風袋 20.4 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
T	R	,	+	0	0	0	0	2	0	.	4	┌	k	g	CR	LF

□ プリセット風袋 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
P	T	,	極性	数字	数字	数字	数字	.	数字	┌	k	g	CR	LF

例 プリセット風袋 10.1 kg のデータ例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
P	T	,	+	0	0	1	0	.	1	┌	k	g	CR	LF

## HD フォーマット

ファンクション設定で、「HD フォーマット」を指定した場合のフォーマット。

「拡張端子チャンネル1通信フォーマット」-「HD フォーマット」 

F06 2
-------

 及び、

「拡張端子チャンネル2通信フォーマット」-「HD フォーマット」 

F16 2
-------

極性は、+または、- です。

### □ 体重安定（総量）の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	極性	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	┌	┌	k	g	CR	LF

例 体重 5.1 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	+	0	0	0	0	5	.	1	┌	┌	k	g	CR	LF

例 体重 50.5 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	+	0	0	0	5	0	.	5	┌	┌	k	g	CR	LF

例 体重 100.5 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	+	0	0	1	0	0	.	5	┌	┌	k	g	CR	LF

### □ 体重安定（正味量）の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
N	┌	,	極性	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	┌	┌	k	g	CR	LF

### □ 体重非安定（総量）の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
U	S	,	極性	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	┌	┌	k	g	CR	LF

### □ 体重オーバー（総量 プラス・オーバー）の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
O	L	,	+	9	9	9	9	9	.	9	┌	┌	k	g	CR	LF

### □ マイナス計量（総量 マイナス・オーバー）の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
O	L	,	-	9	9	9	9	9	.	9	┌	┌	k	g	CR	LF

### □ 風袋 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
T	R	,	+	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	┌	k	g	CR	LF	

例 風袋 1.1 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
T	R	,	+	0	0	0	0	0	1	.	1	┌	k	g	CR	LF

例 風袋 20.4 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
T	R	,	+	0	0	0	0	2	0	.	4	┌	k	g	CR	LF

### □ プリセット風袋 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
P	T	,	+	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	┌	k	g	CR	LF	

例 プリセット風袋 10.1 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
P	T	,	+	0	0	0	0	1	0	.	1	┌	k	g	CR	LF

## BMI 測定

- 身長 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
H	T	,	+	数字	数字	数字	数字	.	数字	┌	c	m	CR	LF

- BMI の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
B	M	,	+	数字	数字	数字	.	数字	CR	LF

## ID データ (共通)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
I	D	,	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	CR	LF

## 時計データ (共通)

年は、西暦で 2017 ~ 2099 の範囲が選択できます。

時間は 24 時間表記です。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
T	M	,	2	0	年	年	/	月	月	/	日	日	,	時	時	:	分	分	:	秒	秒	CR	LF

## 9.2.2. 入力データフォーマット

### コマンド

- プリセット風袋設定 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
P	T	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	CR	LF

- ゼロ動作 の書式

0	1	2
Z	CR	LF

- ID 出力 の書式

0	1	2	3	4
?	I	D	CR	LF

- 時刻出力 の書式

0	1	2	3	4
?	T	M	CR	LF

## コマンド

ID データは、英数字のみ、16 桁固定です。

ID 番号が 16 桁のときは、そのまま ID 番号として登録します。

ID 番号が 17 桁以上のときは、下位 16 桁を ID 番号として登録します。

ID 番号が 15 桁以下のときは、不足分を上位桁にスペースを追加して ID 番号として登録します。

### □ ID データ A

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
I	D	,	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	CR	LF

### □ ID データ B

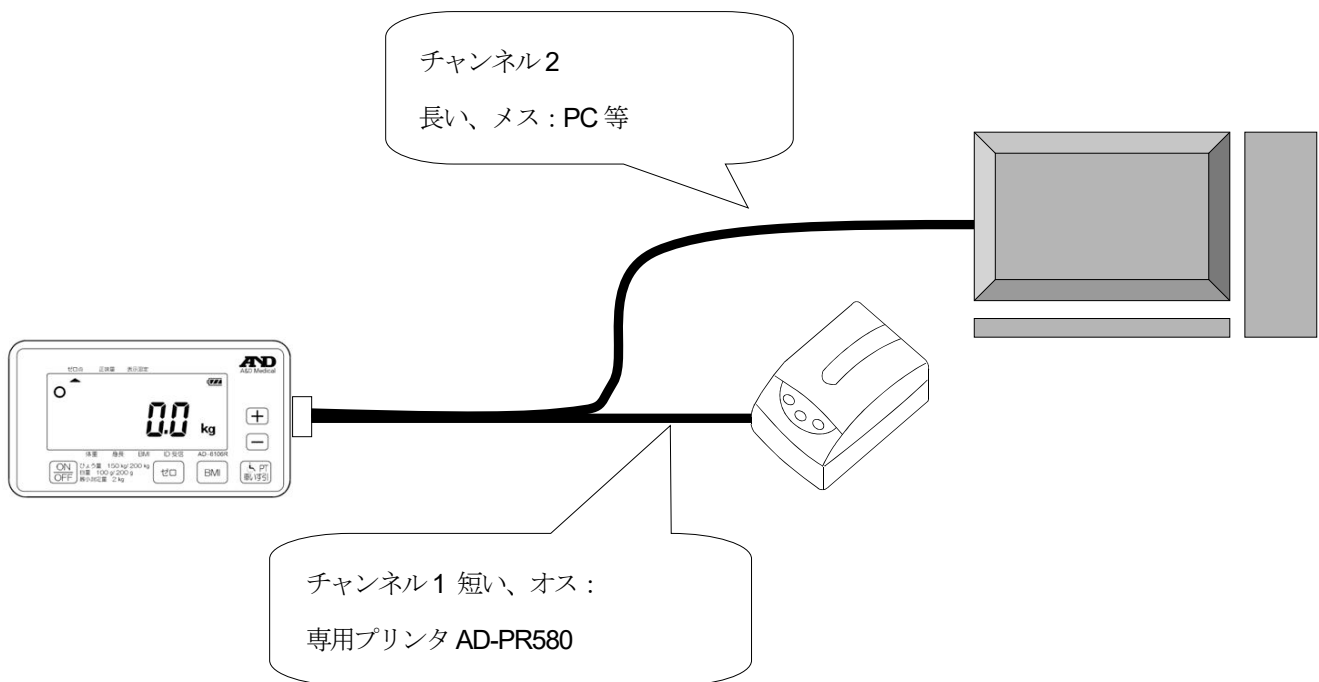
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	英数字	CR	LF

### 9.2.3. 2又通信ケーブル AX-KO6653 の接続

オプションの専用通信ケーブル AX-KO6653 をお使いの場合、以下のように接続すると、PC 等の機器と当社専用プリンタと同時に通信できます。

ファンクションは以下の設定にし、チャンネル2 (PC など) を入力にしてください。

ファンクション	チャンネル1 プリンタ	チャンネル2 PC など
<b>F30-1</b>	入力 ×	入力 ○
<b>F31-2</b>	出力 ○	出力 ○



また、通信に関する設定はそれぞれのチャンネルごとに行えます。

チャンネル	ファンクション項目
チャンネル1	<b>F05 ~ F11</b>
チャンネル2	<b>F15 ~ F21</b>



# 10. 保守

## 10.1. 保守点検と安全管理

- 本器などの機器は必要時にその有する機能が十分に発揮され、しかも被測定者ならびに測定者の安全が確実に保たれているように管理がされなければなりません。「始業前点検」などの日常管理については操作者によってなされることが原則となります。  
本器の保守管理は、本器の性能および安全性、有効性を維持するために必要です。  
当社では、1年に1回以上の定期点検をお勧め致します。

## 10.2. 清掃

### ⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 清掃を行う際は、ACアダプタをコンセントから抜いてください。</li><li>■ 感電の恐れがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 本器に水をかける等、水につけての清掃は絶対に行わないでください。</li><li>■ 本器の殺菌に際してオートクレーブ、ガス滅菌（EOG、ホルムアルデヒドガス、高濃度オゾンなど）を使用しないでください。</li><li>■ シンナー、ベンジンなどの溶剤を用いて清掃しないでください。</li></ul>

- 本器の清掃は病院の定めた方針や手順をもとに、1ヵ月に1回程度、以下のように行ってください。
  - 機器外装の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
  - 清掃するときは、水に薄めた中性洗剤または、消毒用アルコールを使用してください。
  - 血液、薬剤、汚物などが付着したときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で清拭し、除去してください。

## 10.3. 定期点検

- 本器を正しくお使いいただくために、定期点検を実施してください。定期点検の主な内容は以下の通りです。  
定期点検については、当社にお問合せください。

### 10.3.1. 電源投入前

- 電源投入前に下記点検を行い、問題がないことを確認してください。

項目	内容
外観	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 変形や破損はないか</li><li>■ 各部に汚れ、サビ、キズ等はないか</li><li>■ パネル類に割れやガタつき等はないか</li><li>■ 結露や水濡れはしていないか</li></ul>
計量台	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 計量台、手すりのガタつき、固定異常はないか</li><li>■ 足コマは4箇所付いているか、ガタつき、破損等はないか</li><li>■ 計量台は、水平で安定した場所に設置されているか（水平器で確認）</li></ul>
接続ケーブル	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 電源ケーブルの上に重いもの、車いす、本体等がのっていないか</li><li>■ 電源ケーブル・プラグは傷んでいないか</li><li>■ 本体のコネクタに確実に挿入されているか</li></ul>

## 10.3.2. 電源投入後

- 電源投入後に下記点検を行い、問題がないことを確認してください。

項目	内容
外観	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ けむりが出る、変なおいではないか</li> <li>■ 異常な音が聞こえないか</li> </ul>
体重測定	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実測し、体重値及び測定動作に異常はないか</li> </ul>
データ処理 (他 PC 等への接続の場合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 正常に通信可能か</li> <li>■ データに異常はないか</li> </ul>
スイッチ・ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スイッチ・ボタン類の動作に異常はないか</li> </ul>
表示部	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 文字欠け等表示異常はないか</li> </ul>

機器に異常がある場合は、点検にお申しください。点検は、最寄りの当社営業所にお申し付けください。

## 10.4. 廃棄

- 本器の廃棄およびリサイクルについては、環境保護のため地方自治体の指導に従って処理してください。

品名	構成品	原材料
パッケージ	箱	段ボール
	緩衝材	段ボール
	袋	ビニール
本体	表示器筐体	ABS 樹脂
	内部部品	一般部品
	シャーシ	鉄、アルミニウム
	基板上の電池 (バックアップ用)	リチウム電池
	乾電池	単1形アルカリ乾電池

## 10.5. 修理を依頼される前に

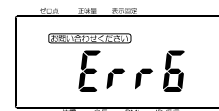
- 測定条件や機器の異常を検出した場合やエラーコードが表示された場合は、修理を依頼される前に下記のチェック表に該当する現象がないかお確かめください。


これらの対処にもかかわらず、現象が再現する、あるいは改善されない場合は、当社 ME 機器相談センターにお問合せください。

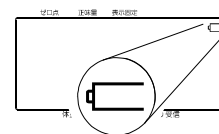
現象	確認内容
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ON/OFF</div> スイッチを押しても、何も表示しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ AC アダプタは正しく接続されていますか？</li> <li>■ 乾電池が正しく入っていますか？</li> <li>■ 乾電池が消耗していませんか？</li> <li>■ 接続ケーブルは正しく接続されていますか？</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">-----</div> を表示したまま変わらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源をいれるとき、計量台の上に何か載っていませんか？</li> <li>■ 約 20 kg 以上のものを載せて電源をいれる则表示されます。載っているものを降ろしてください。</li> </ul>
正しくはかれない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 計量台の下にもものが入り込んでいませんか？</li> <li>■ 計量台に壁やコードなどが接触していませんか？</li> <li>■ 水平に設置されていますか？</li> </ul>
測定範囲外と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 計量台に 201.6 kg を超えたものがのっているか、電源投入時に計量台の載っているものを下したとき表示されます。</li> </ul>

- **Err** 番号 がでるときは、故障の可能性があります。  
表示される番号とともに当社 ME 機器相談センターにお問い合わせください。

エラー番号例



-  が点灯したら、同じ種類の新しい単 1 形乾電池の 4 個に交換してください。



## ⚠ 注意



- 本器の分解、および改造はしないでください。怪我、火災、感電の原因となります。

## 11. アクセサリ・オプション

品名	型名
専用スタンド	AD-6106R-01
プリンタ	AD-PR580
プリンタ取り付けキット	AD-PR580-008
プリンタ用紙	AX-PP147-S

## 12. 重力加速度の大きさの範囲

- 本器は、重力加速度の大きさの範囲を下表のように分類しています。  
2 箇所に記載されている県は、どちらの重力加速度の範囲でも使用できます。  
たとえば、愛知県の場合「9.800 ~ 9.796 m/s<sup>2</sup>」または「9.798 ~ 9.794 m/s<sup>2</sup>」が使用できます。

使用地域の表記 重力加速度の範囲	区分	使用地域（都道府県）
9.803 ~ 9.807 m/s <sup>2</sup>	1	北海道
9.799 ~ 9.804 m/s <sup>2</sup>	2	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県
9.796 ~ 9.801 m/s <sup>2</sup>	3	福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都（八丈、小笠原支庁を除く）、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、
9.794 ~ 9.799 m/s <sup>2</sup>	4	群馬県、埼玉県、千葉県、東京都（全域）、神奈川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県（薩摩地方に限る）
9.789 ~ 9.794 m/s <sup>2</sup>	5	鹿児島県（薩摩地方を除く）、沖縄県



## 13. アフターサービス・保証

- 本器、付属品およびオプション品は日本国内での使用を目的とし、保証は日本国内のみ有効といたします。

### 13.1. 保証期間

- 取扱説明書、ラベルの注意事項にしたがった正常な使用状態で、保証期間は下記のとおりです。  
本体 ..... ご購入より 12 ヶ月

### 13.2. 免責事項

- 下記の記載内容については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。
  - 当社、または当社が指定した業者以外による保守、および宗理に基づく故障・破損。
  - この取扱説明書に記載されている安全上の注意や操作方法を守らなかった結果による故障・破損。
  - この取扱説明書に記載されている電源、設置、保管環境など製品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・破損。
  - 適切な保守点検を怠っての使用による故障・破損。
  - 本体以外の付属品、消耗品の破損、交換。
  - 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社製品が受けた故障・破損。
  - 製品を改造あるいは、不当な修理をされた結果に基づく故障・破損。
  - 転倒、操作上のミスなど使用者の責任とみなされるもの。
  - 火災、地震、水害、落雷など天災による故障・破損。

### 13.3. 製品に関するご質問・ご相談窓口

- 裏表紙に記載してある相談窓口にお申し付けください。

# MEMO

Lined memo page with 22 horizontal lines.



## メディカル機器に関するご質問・ご相談窓口

故障、別売品・消耗品に関してのご質問・ご相談も、この電話で承ります。  
修理のご依頼、別売品・消耗品のお求めは、お買い求め先へご相談ください。

### ME 機器相談センター

電話 **0120-707-188** 通話料無料

受付時間: 9:00~12:00、13:00~17:00、月曜日~金曜日(祝日、弊社休業日を除く)  
都合によりお休みをいただいたり、受付時間を変更させて頂くことがあります  
のでご了承ください。

**修理品の発送先** 〒507-0054 岐阜県 多治見市 宝町9-19  
株式会社エー・アンド・デイ FE部  
業務用体重計、業務用身長計 TEL. 0572-21-6644

**AND** 株式会社 **エー・アンド・デイ**

本社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル

※ 電話のかけまちがいにご注意ください。  
番号をよくお確かめの上、おかけくださるようお願いいたします。